

暴露型ランサムウェア攻撃統計

CIGマンスリーレポート 2024年9月号 Rev 1.01 (2024年8月分)

更新履歴

Rev 1.01 (2024年10月15日)：誤植を修正。

2024

8

総括と監視対象 (レポート①～③)

今月のハイライト	p.3
監視中のランサムウェア攻撃グループ情報 (拠点数と一覧)	p.4
監視中のランサムウェア攻撃グループ情報 (ランサムウェア使用の割合)	p.5

グローバル統計 (レポート④～⑯)

年間統計 (全世界)	p.6～7
攻撃グループTOP10 (全世界)	p.8～11
被害国TOP10 (全世界)	p.12～15
被害国TOP10 (アジア)	p.16～19
業種TOP10 (全世界)	p.20～23

日本関連組織を対象とした統計 (レポート⑰～⑳)

被害数の推移に関する統計 (全世界及び国内)	p.24～25
資本金別 月別統計 (国内)	p.26～27
公表と暴露に関する統計 (国内)	p.28～29
公となった国内被害組織 概要一覧	p.30～32
公となった国内被害組織における拠点割合	p.33
公となった国内被害組織における業種割合	p.34

多重被害に関する分析 (レポート㉓～㉔)

繰り返し暴露された事案数の集計と 攻撃グループ間の関係	p.36
多重被害に遭った被害組織の傾向と分析	p.37

業種に関する分析 (レポート㉕)

業種に関する分析 – 製造	p.39
業種に関する分析 – サービス	p.40
業種に関する分析 – 情報通信	p.41
業種に関する分析 – 医療	p.42
業種に関する分析 – 建設・建築	p.43
業種に関する分析 – 卸売・小売	p.44
業種に関する分析 – 教育	p.45
業種に関する分析 – 金融・保険	p.46
業種に関する分析 – 運輸	p.47
業種に関する分析 – 法律	p.48

その他

CIGのコンテンツ紹介	p.49
本資料に関する留意事項及び二次利用について	p.50

2024

8

総括と監視対象

● 新興グループRansomHubの台頭とその背景

RansomHubは現在最も活発なランサムウェア攻撃グループの一つであり、多くの重要インフラや企業に深刻な被害をもたらしている。そのリークサイト掲載数に基づく被害組織の数は2024年2月のRansomHub発見当初、全体の約1%（4件/全体394件）に過ぎなかった。しかし、わずか半年で230件以上の組織を掲載し、2024年8月には全体の約18%（74件/全体395件）を占めるまでに増加している。

この成長の背景には、他のランサムウェア攻撃グループとの関係性が疑われている。

例えば、RansomHubの一部検体が複数ベンダーの検知エンジンでKnight (Cyclops)ランサムウェアとして検出されることを確認^{※1}しており、両者に技術的類似点があるといえる。さらに、AlphV (BlackCat)とは、ソースコードの共通性が指摘されており^{※2}、リークサイトに基づく被害組織の重複も確認している。

このような状況の中、2024年8月末にFBIやCISAなどの米国政府機関が共同でRansomHubについてのセキュリティアドバイザリーを公開した^{※3}。このアドバイザリーでは、RansomHubがKnightの技術を利用していることや、LockBitやAlphVなどの著名な攻撃グループからアフィリエイトを募集していることなど、複数の攻撃グループとの関係性が示唆されている。

以下のグラフはCIGの統計データをもとに作成した、過去1年間の全ランサムウェア攻撃グループのリークサイト掲載数に対するRansomHubの割合を示している。

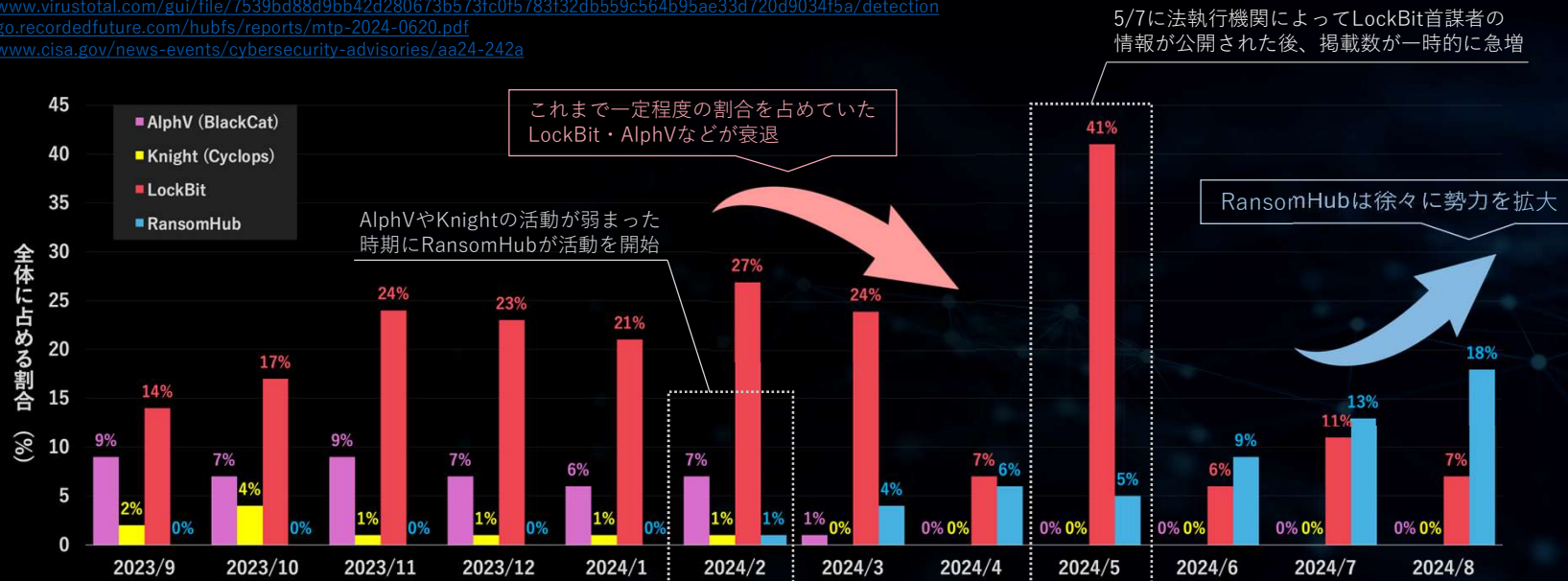
グラフを見ると、これまで一定程度の割合を占めていたLockBitやAlphVなどが衰退していく中、RansomHubの存在感が徐々に高まっていることがわかる。また、AlphVやKnightの活動が弱まった時期にRansomHubが活動を開始している点も興味深い事実である。

このようにランサムウェア攻撃グループ間の連携や技術共有の可能性が示唆される状況下においては、既知の攻撃手法の把握とその対策の重要性が一層高まっている。今後は、多様な攻撃者の視点を取り入れた包括的なセキュリティ戦略の構築が不可欠となるだろう。

※1 <https://www.virustotal.com/gui/file/7539bd88d9bb42d280673b573fc0f5783f32db559c564b95ae33d720d9034f5a/detection>

※2 <https://go.recordedfuture.com/hubfs/reports/mtp-2024-0620.pdf>

※3 <https://www.cisa.gov/news-events/cybersecurity-advisories/aa24-242a>



RansomHubおよび関係性が疑われる攻撃グループによるリークサイト掲載数の割合比較
(過去1年：2023年9月～2024年8月におけるCIGの独自データをもとに算出)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

監視中のランサムウェア攻撃グループ情報 (拠点数と一覧)



Know your enemy.
Defense leadership.®

- 当月監視対象の攻撃グループ数：192グループ ^(※1) ^(※2)
- 当月リークサイト掲載の活動を確認した攻撃グループ数：41件

※1) レポート公開月に出現した攻撃グループは次月号に反映
※2) 活動停止した攻撃グループを含む

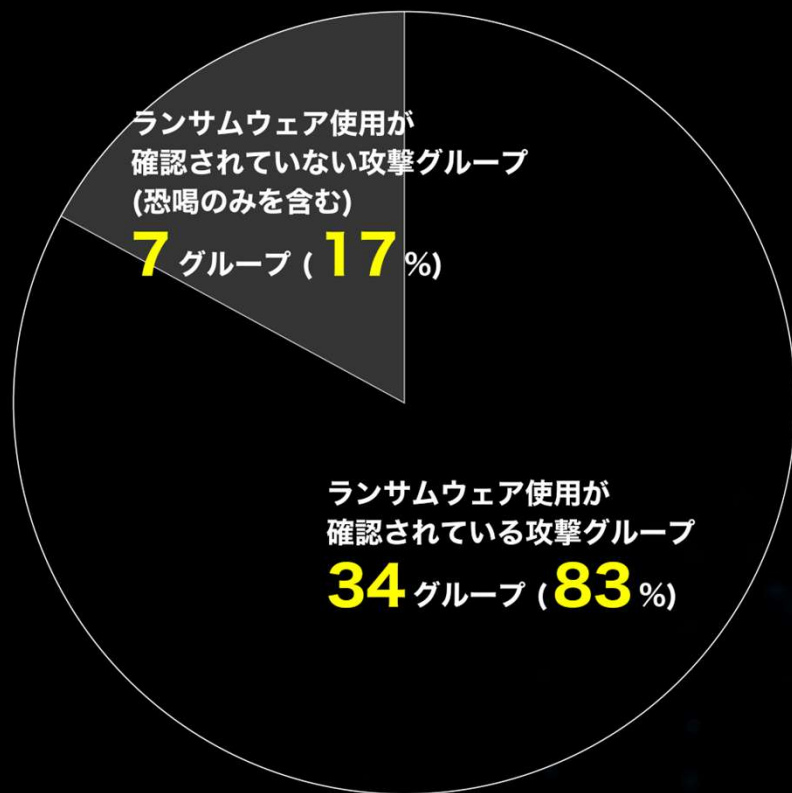
● 当月監視対象の攻撃グループ一覧 (● : 当月から新しく監視対象に加えた攻撃グループ)

Omega (Omega)	BULLY	Donex	INC Ransom	MOISHA	Ragnar Locker	SIEGEDSEC
8BASE	CACTUS	Donut Leaks	Insane	Money Message	Ragnarok	SLUG
Abyss	CHEERS	DoppelPaymer	Karakurt	Monti	RA GROUP	Snatch
AKIRA	ChileLocker (Arcrypter)	dotAdmin	Karma	Mount Locker	Rancoz	Solidbit
AKO	Cicada3301	DragonForce	KILLSEC	N3tw0rm (NetWorm)	Ransom Cartel	Space Bears
Alpha (MYDATA)	CiphBit	DUNGHILL	Knight	N4UGHTYSEC (NAUGHTYSEC)	Ransom Corp	Sparta
AlphV (BlackCat)	CipherLocker	eCh0raix (eChoraix)	LAMBDA	Nefilim	RANSOMCORTEX	Spook
Apos Security	CLOP (CLOP)	El_Cometa	La Piovra	Nevada	Ransomed.vc	STORMOUS
APT73 (Eraleig)	Cloak	EL DORADO	LAPSUS\$	NightSky	Ransom EXX	Sugar
ARCUS MEDIA	Conti	EMBARGO	LILITH	NoEscape	RansomHouse	Suncrypt
ArvinClub	Cooming Project	Endurance	LockBit	Nokoyawa	RansomHub	SynACK
Astro (Astra)	CROSSLOCK	Entropy	Lorenz	NONAME (VFOKX)	Ransomware Blog	ThreeAM (3AM)
AtomSilo	CryptBB	Everest	LostTrust	NONAME [2023年確認]	Ranzy	TRIGONA
Avaddon	CRYPTNET	FOG	LV	NULLBULGE	RA WORLD	TRINITY
AvosLocker	CryptOn	FSOCIETY / FLOCKER	LYNX	Onyx	Raznatovic	TRISEC
Axxes	Cuba	FSTeam	MADCAT	Pandora	RedAlert (N13V)	Underground
Babuk	Cyclops	Grief	MAD LIBERATOR	Pay2Key	Red Ransomware Group (Red CryptoApp)	UnSafe
BianLian	DAGON	Groove	MALAS	Payload.bin	Relic	VanirGroup
BL00DY (BLOODY)	DAIXIN	HANDARA [Hacktivist]	MalekTeam	PLAY	Revil (Sodinokibi)	Vice Society
Bl4ckt0r (BlackTor)	dAn0n (danon)	Haron	Mallox	Prometheus	Rhysida	V IS VENDETTA
BlackBasta	Dark Angels	● HellDown	MBC	PRYX	Risen	VSOP
BlackByte	DARKBIT	HelloGookie	Medusa	PUTIN TEAM	ROOK	WEREWOLVES
BlackDolphin	DARKPOWER	Hitler (AGLOBGVYCG)	MEOW	Pysa / Mespinoza	Royal	x001xs
BlackMatter	DarkRace	Hive	Metaencryptor	Qilin (Agenda)	Ransom	XING Team
Blackout	DarkRypt	HolyGhost	Midas	QIULONG	Sabbath (54bb47h)	Yanluowang
BlackSuit	Darkside	Hotarus	Mindware	Quantum	SenSayQ	Zeon
BLUESKY	Dark Vault	Hunters International	Mogilevich [fraud]	RABBIT HOLE	shaoleaks	Zero Tolerance
Brain Cipher	Dispossessor[Databroker]	ICEFIRE				

監視中のランサムウェア攻撃グループ情報 (ランサムウェア使用の割合)

● 現在活動中の攻撃グループにおけるランサムウェア使用の割合 (2024年8月)

(※当月にリークサイト掲載を確認した攻撃グループ全41グループ中)



暴露型攻撃グループの中にはSTORMOUSやKarakurtなど、ランサムウェアの使用が明確に確認されていない攻撃グループや、ランサムウェアを使用せず窃取データで恐喝のみを行う集団（恐喝グループ）も存在する。

一例として、BianLianやCLOPなどがデータを暗号化せずに恐喝を行う手法に移行しているとされる。

左の円グラフは、2024年8月に活動中である事が確認された全41グループにおけるランサムウェア使用の割合の内訳を示した図である。

年間統計

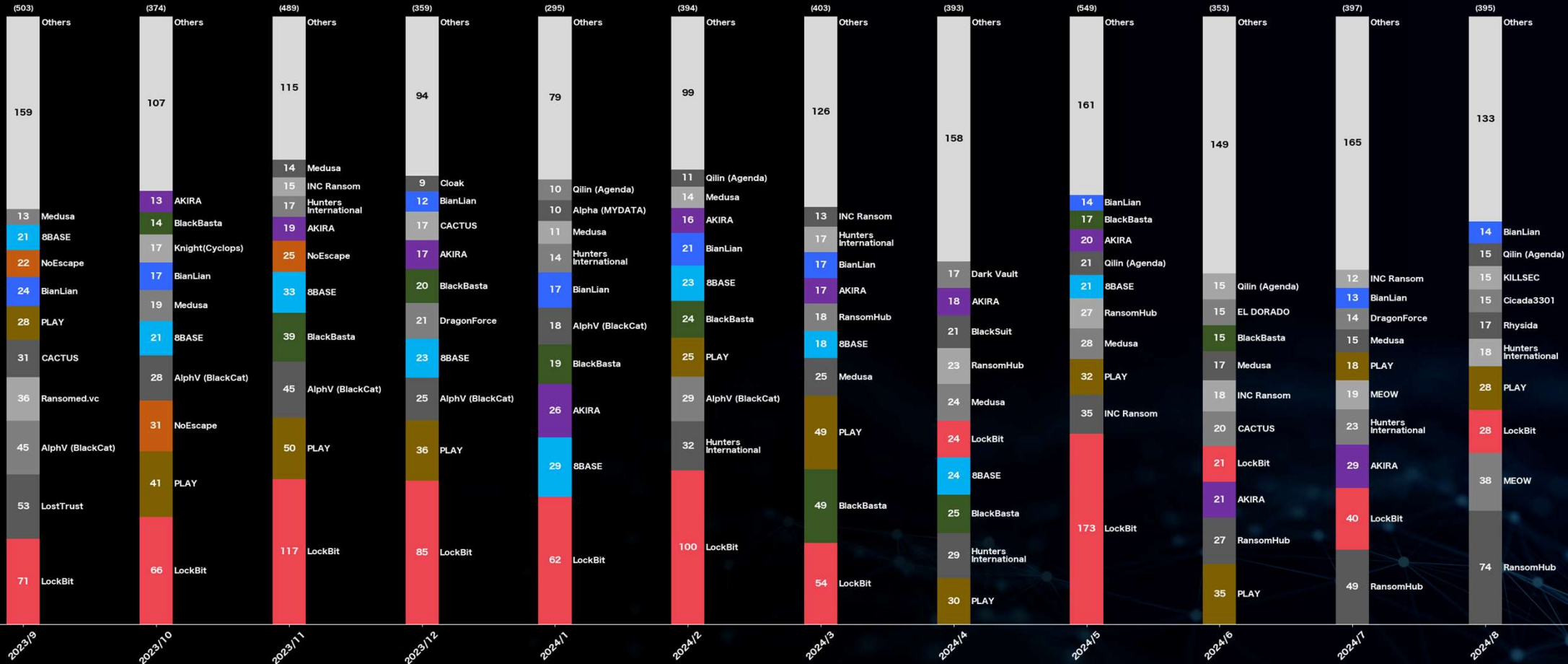
(全世界)

2024

8

攻撃グループ割合で見る被害数の年間統計

(過去1年間 / 2023年9月～2024年8月 / **全世界**) (MBSD調べ)



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

攻撃グループ 月別統計

(全世界) (過去3ヶ月分)

2024

8

月別内訳 攻撃グループ TOP10

(2024年 6月 / 全世界) (MBSD調べ)

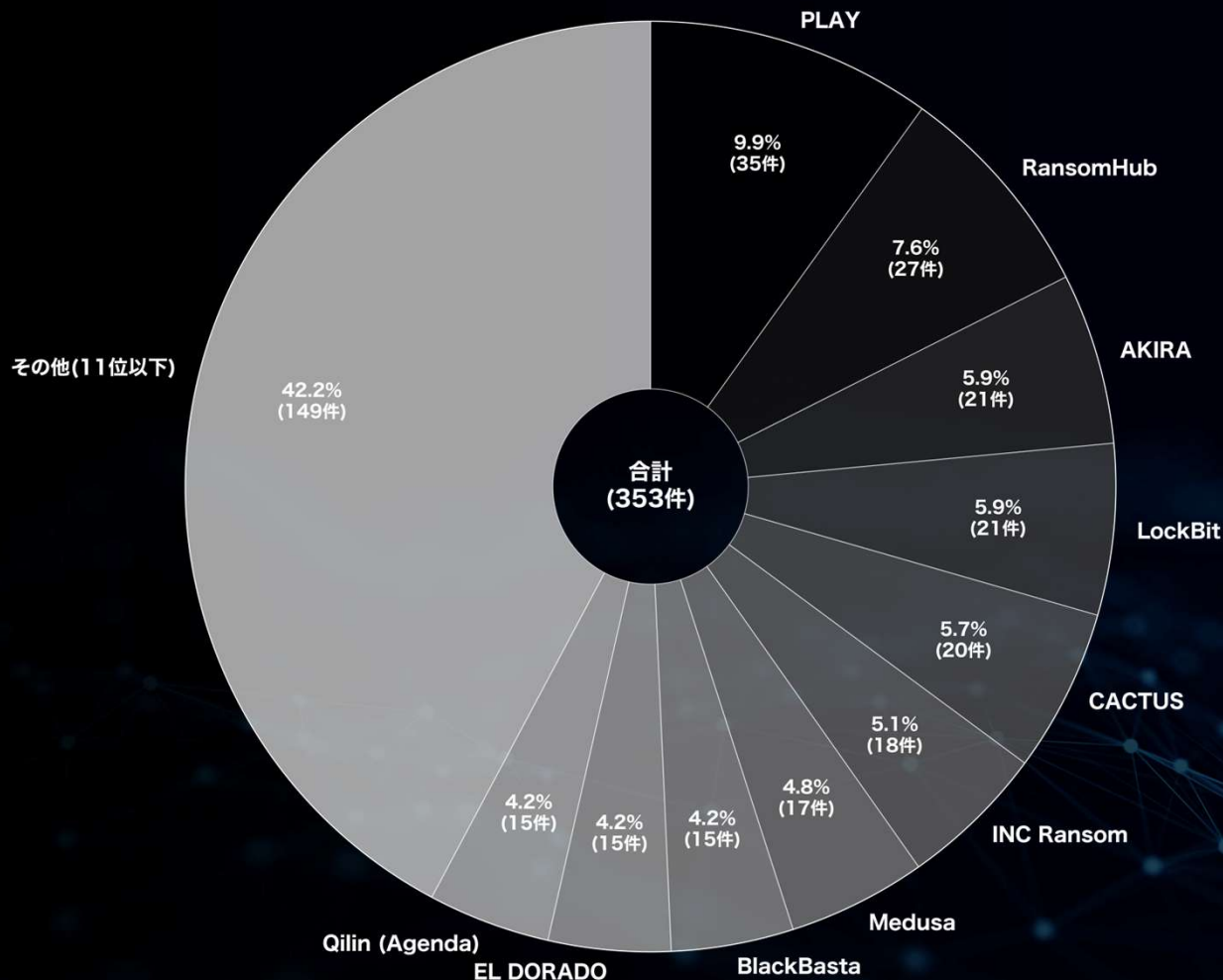


Know your enemy.
Defense leadership.®

▼ランサムウェア攻撃グループの勢力割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順 / 同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

攻撃グループ名	件数	割合(%)	前月比(件数)
PLAY	35	9.9	+ 3
RansomHub	27	7.6	± 0
AKIRA	21	5.9	+ 1
LockBit	21	5.9	- 152
CACTUS	20	5.7	+ 15
INC Ransom	18	5.1	- 17
Medusa	17	4.8	- 11
BlackBasta	15	4.2	- 2
EL DORADO	15	4.2	+ 15
Qilin (Agenda)	15	4.2	- 6



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

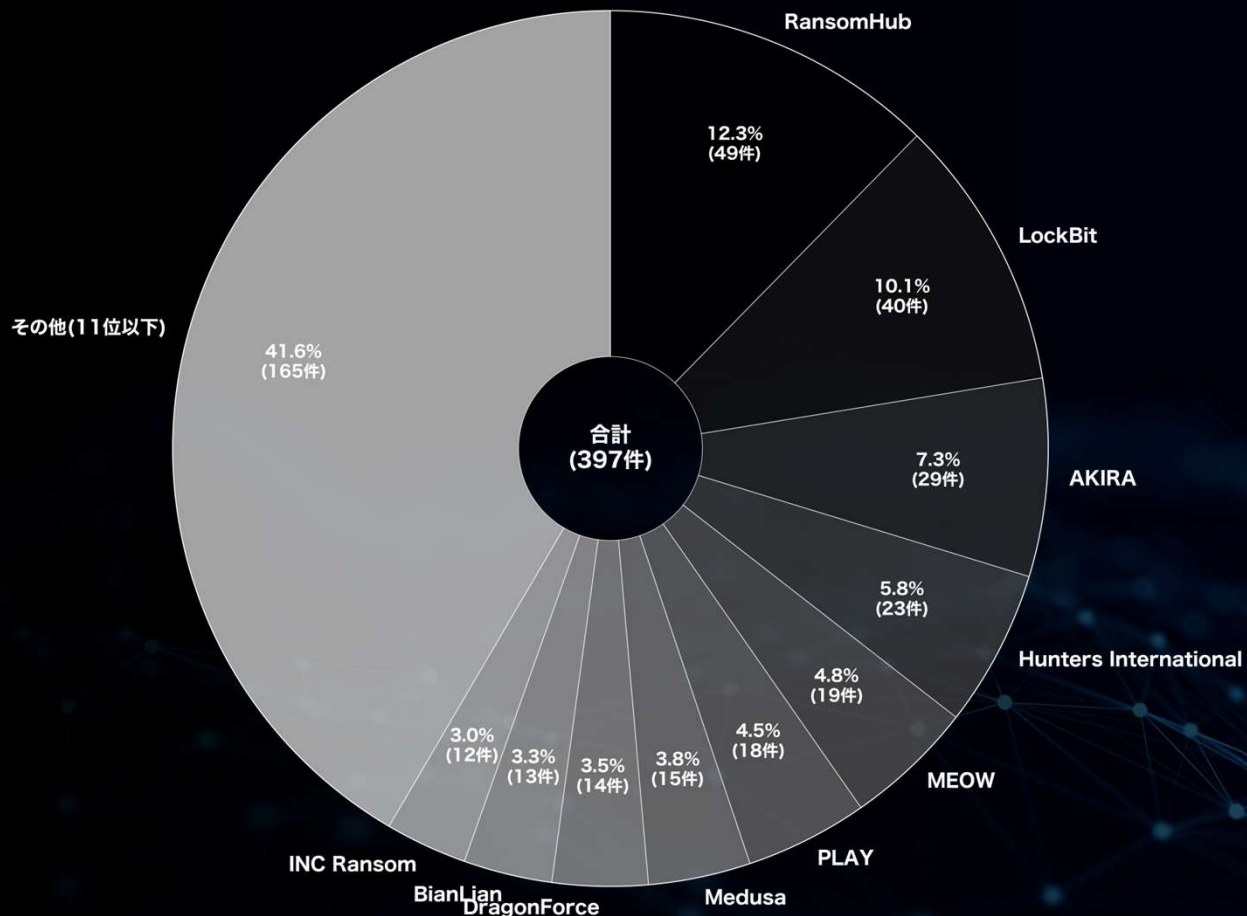
月別内訳 攻撃グループ TOP10

(2024年 7月 / 全世界) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃グループの勢力割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順 / 同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

攻撃グループ名	件数	割合 (%)	前月比(件数)
RansomHub	49	12.3	+ 22
LockBit	40	10.1	+ 19
AKIRA	29	7.3	+ 8
Hunters International	23	5.8	+ 15
MEOW	19	4.8	+ 17
PLAY	18	4.5	- 17
Medusa	15	3.8	- 2
DragonForce	14	3.5	+ 6
BianLian	13	3.3	+ 4
INC Ransom	12	3.0	- 6



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

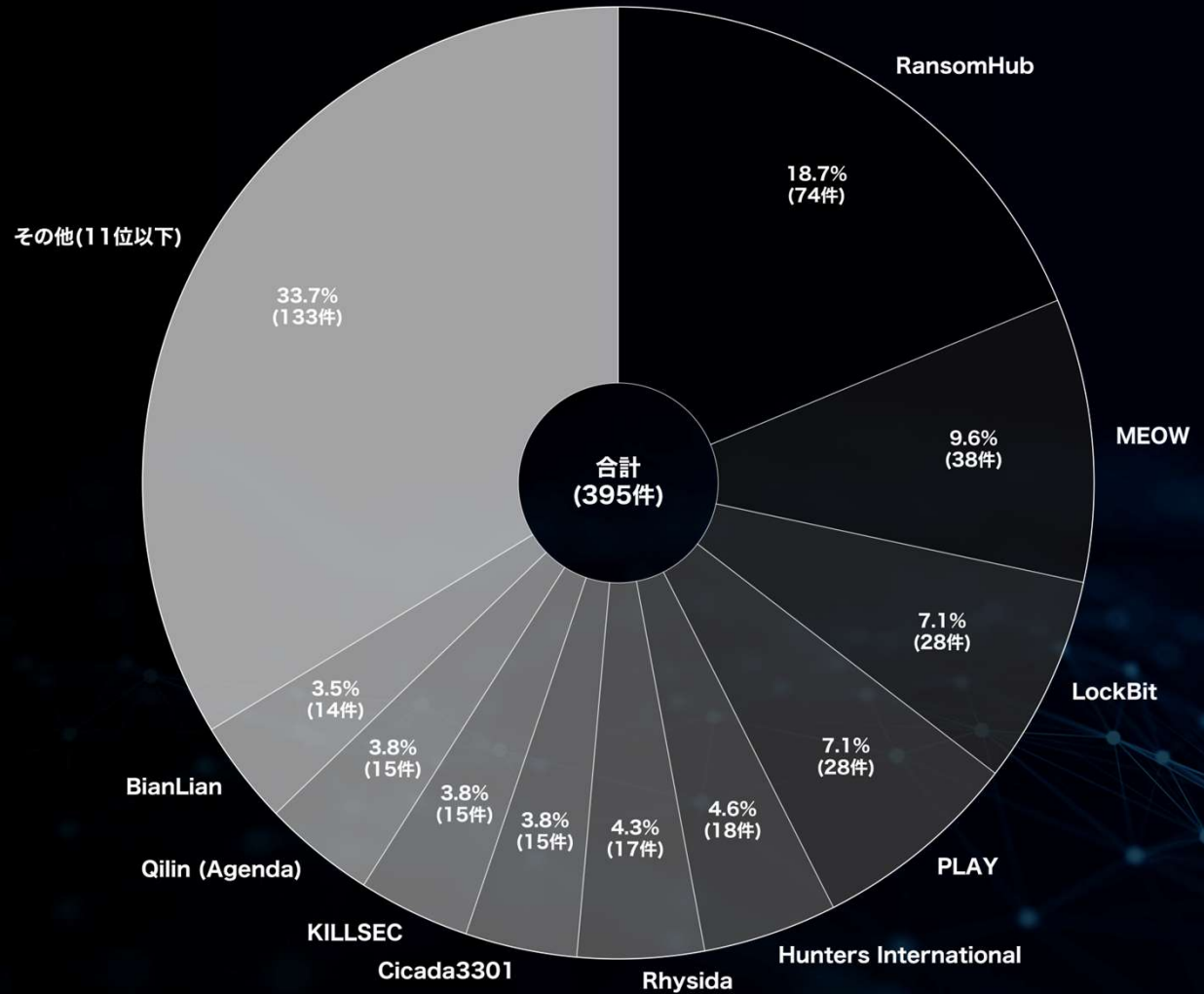
月別内訳 攻撃グループ TOP10

(2024年 8月 / 全世界) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃グループの勢力割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順/同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

攻撃グループ名	件数	割合(%)	前月比(件数)
RansomHub	74	18.7	+ 25
MEOW	38	9.6	+ 19
LockBit	28	7.1	- 12
PLAY	28	7.1	+ 10
Hunters International	18	4.6	- 5
Rhysida	17	4.3	+ 6
Cicada3301	15	3.8	+ 9
KILLSEC	15	3.8	+ 13
Qilin (Agenda)	15	3.8	+ 7
BianLian	14	3.5	+ 1



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

被害国 月別統計

(全世界) (過去3ヶ月分)

2024

8

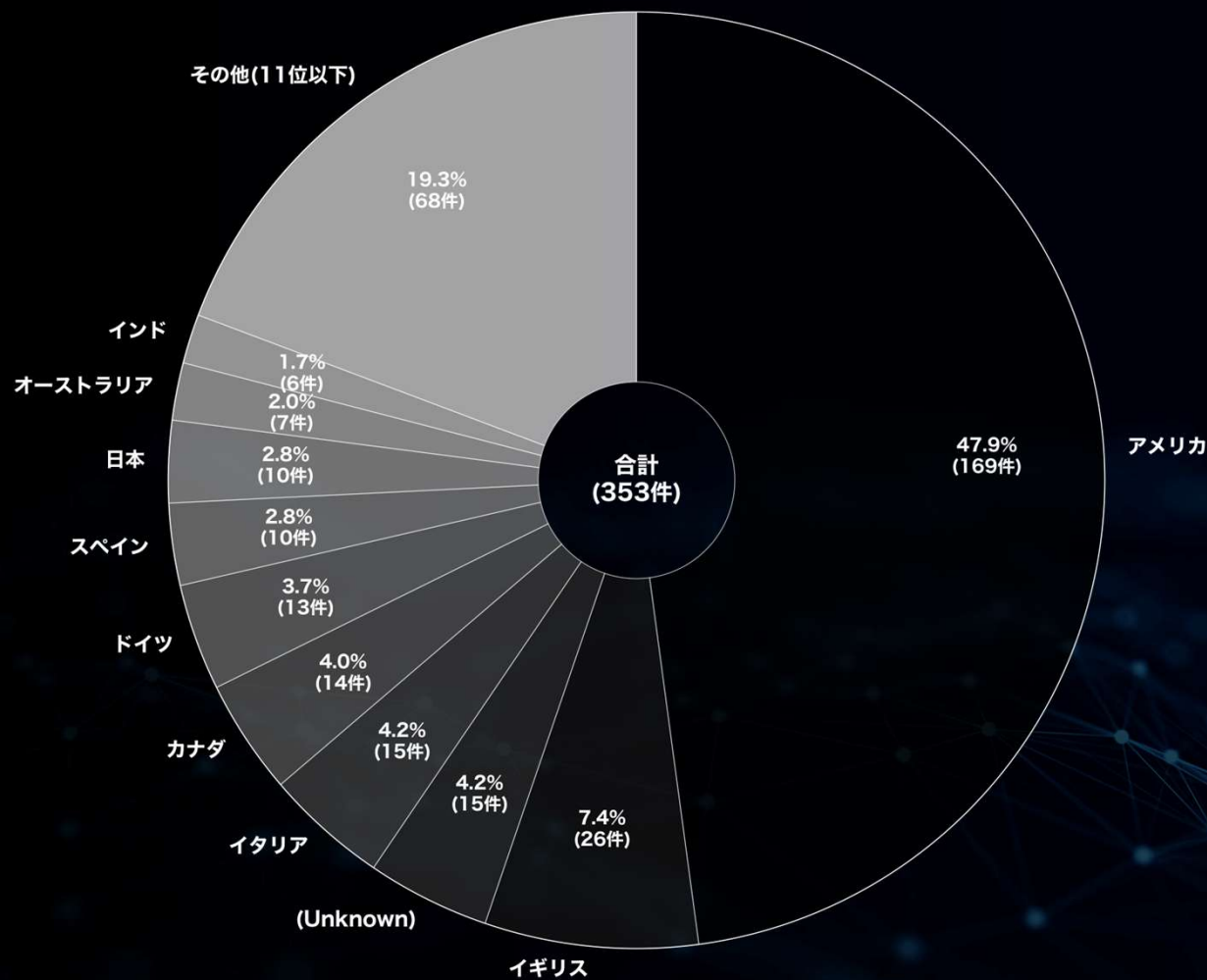
月別内訳 被害国TOP10

(2024年 6月 / 全世界) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けた被害国の割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順/同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

国名	件数	割合(%)	前月比(件数)
アメリカ	169	47.9	- 83
イギリス	26	7.4	- 10
(Unknown)	15	4.2	+ 3
イタリア	15	4.2	± 0
カナダ	14	4.0	- 13
ドイツ	13	3.7	- 9
スペイン	10	2.8	- 10
日本	10	2.8	± 0
オーストラリア	7	2.0	+ 5
インド	6	1.7	- 9



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

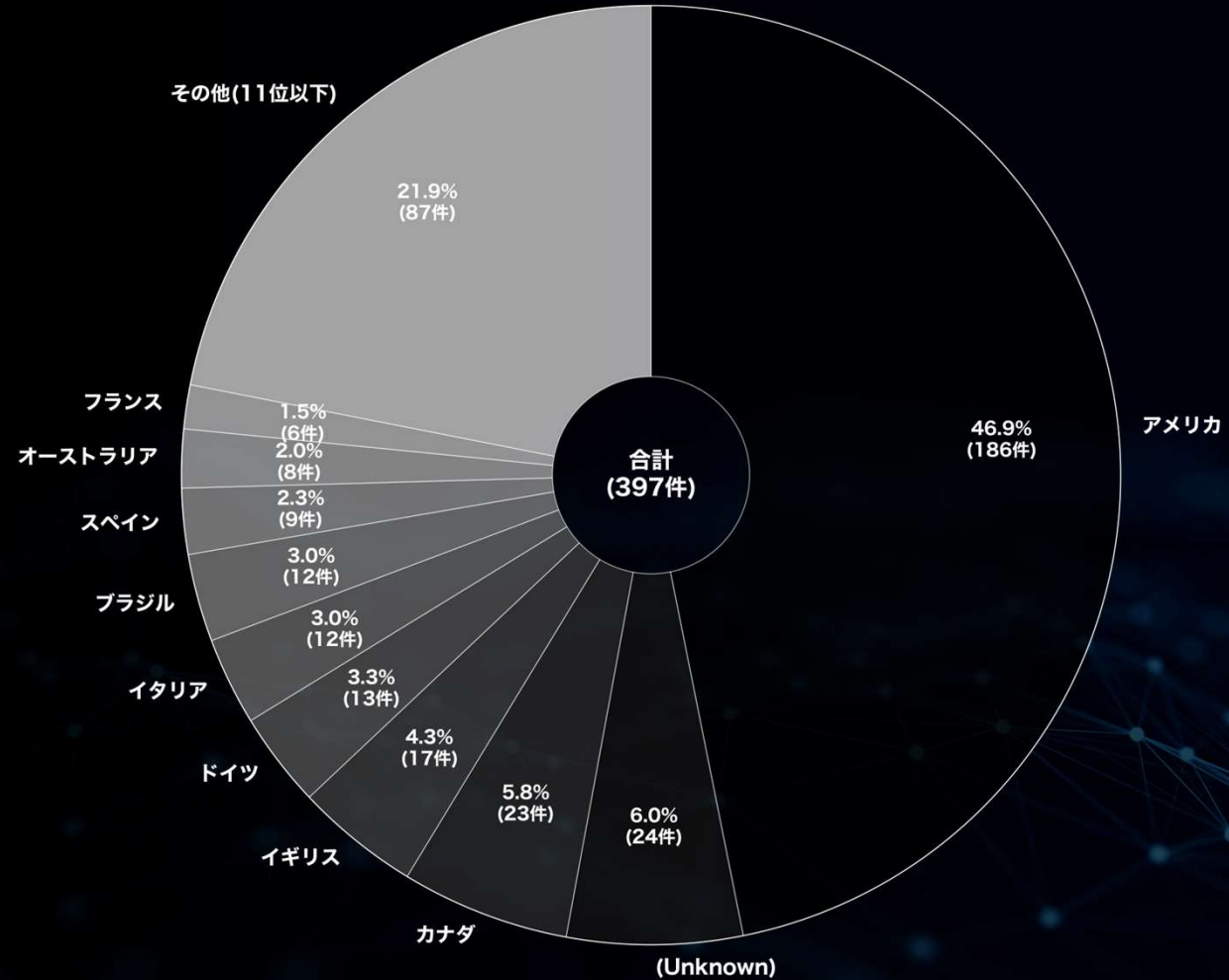
月別内訳 被害国TOP10

(2024年7月 / 全世界) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けた被害国の割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順 / 同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

国名	件数	割合(%)	前月比(件数)
アメリカ	186	46.9	+ 17
(Unknown)	24	6.0	+ 9
カナダ	23	5.8	+ 9
イギリス	17	4.3	- 9
ドイツ	13	3.3	± 0
イタリア	12	3.0	- 3
ブラジル	12	3.0	+ 6
スペイン	9	2.3	- 1
オーストラリア	8	2.0	+ 1
フランス	6	1.5	+ 2



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

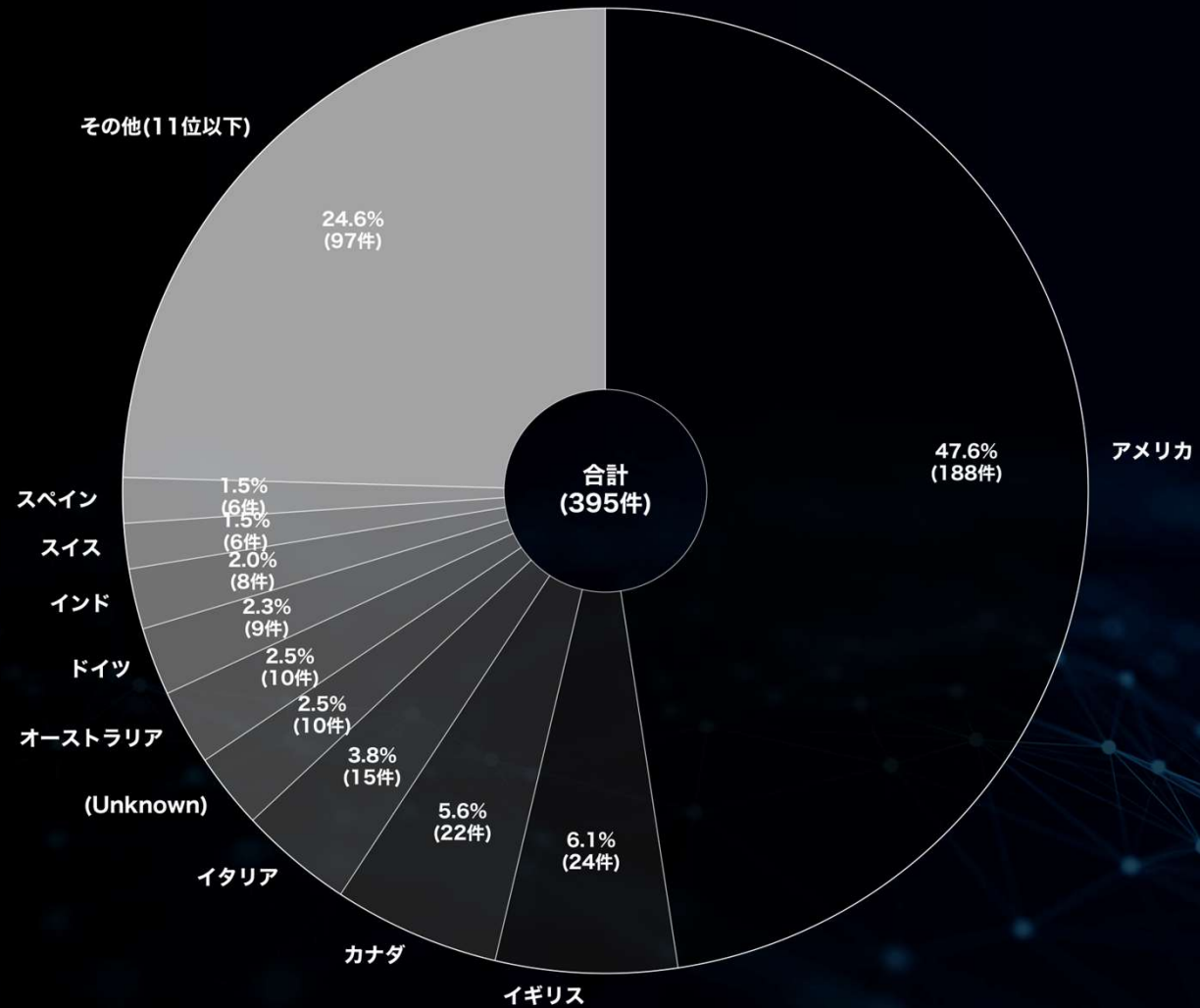
月別内訳 被害国TOP10

(2024年 8月 / 全世界) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けた被害国の割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順/同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

国名	件数	割合(%)	前月比(件数)
アメリカ	188	47.6	+ 2
イギリス	24	6.1	+ 7
カナダ	22	5.6	- 1
イタリア	15	3.8	+ 3
(Unknown)	10	2.5	- 14
オーストラリア	10	2.5	+ 2
ドイツ	9	2.3	- 4
インド	8	2.0	+ 3
スイス	6	1.5	+ 5
スペイン	6	1.5	- 3



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

被害国 月別統計

(アジア) (過去3ヶ月分)

2024

8

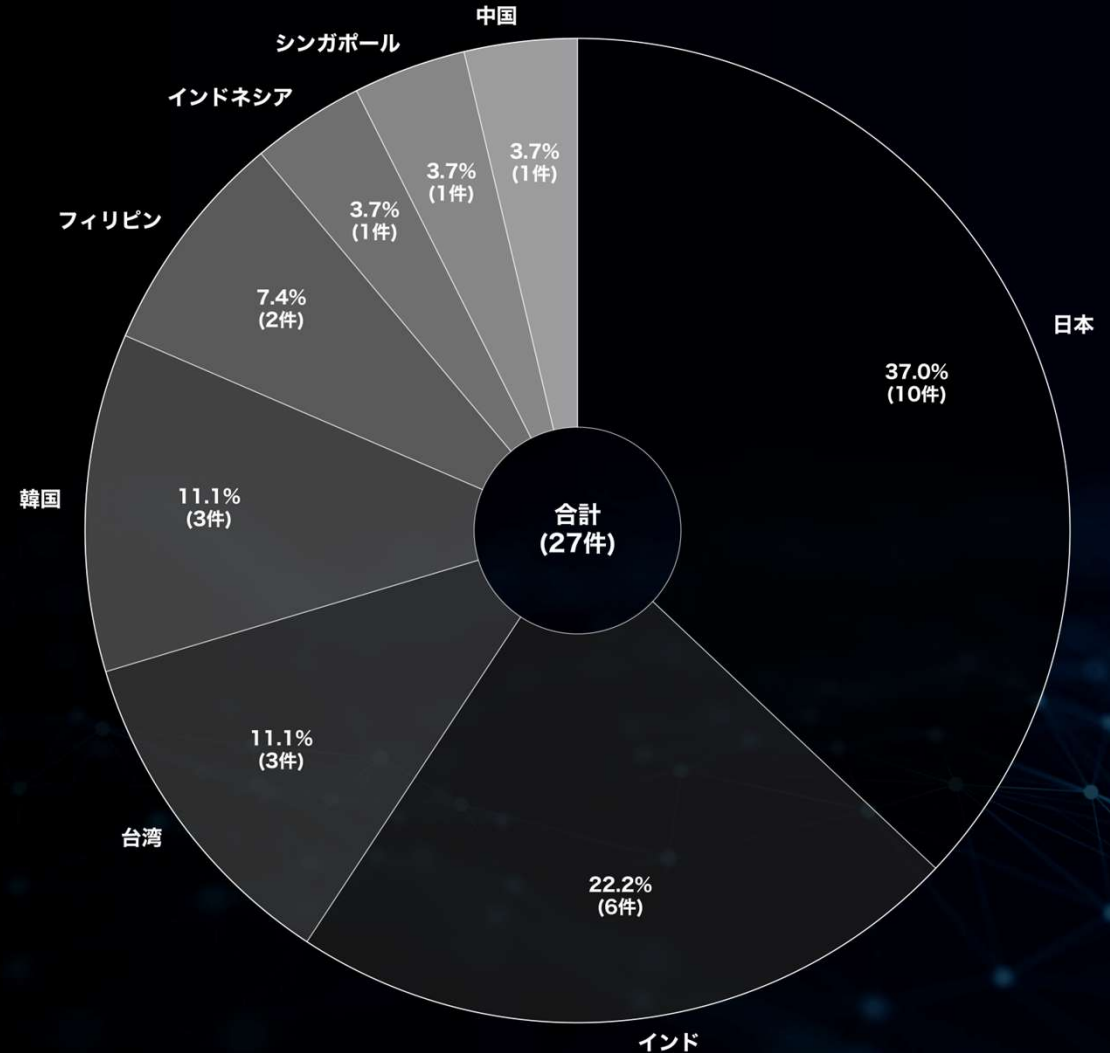
月別内訳 被害国TOP10

(2024年 6月 / アジア) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けたアジア諸国の割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順/同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

国名	件数	割合(%)	前月比(件数)
日本	10	37.0	± 0
インド	6	22.2	- 9
台湾	3	11.1	± 0
韓国	3	11.1	+ 2
フィリピン	2	7.4	± 0
インドネシア	1	3.7	- 1
シンガポール	1	3.7	- 1
中国	1	3.7	- 1



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

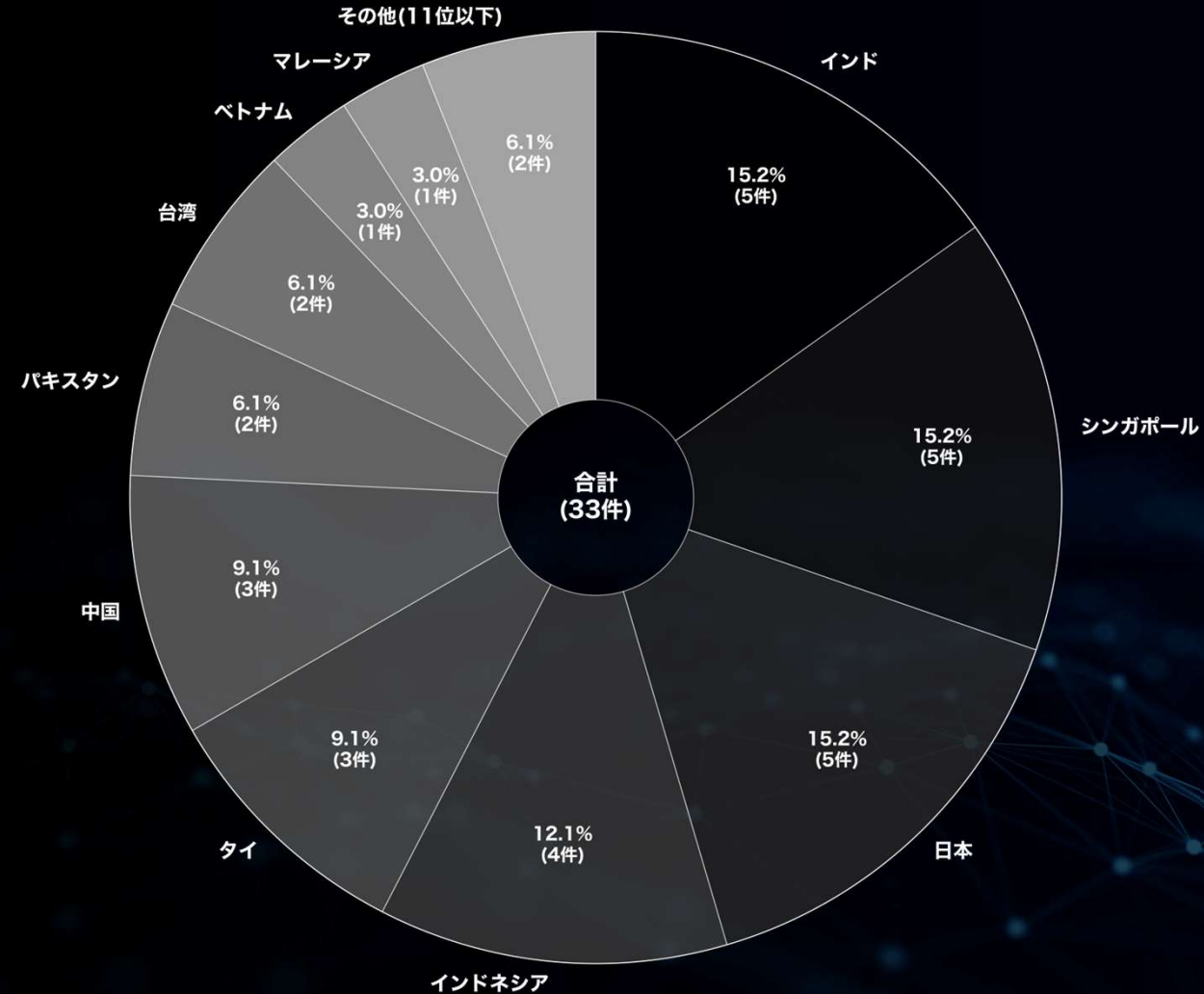
月別内訳 被害国TOP10

(2024年7月/アジア) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けたアジア諸国の割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順/同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

国名	件数	割合(%)	前月比(件数)
インド	5	15.2	- 1
シンガポール	5	15.2	+ 4
日本	5	15.2	- 5
インドネシア	4	12.1	+ 3
タイ	3	9.1	+ 3
中国	3	9.1	+ 2
パキスタン	2	6.1	+ 2
台湾	2	6.1	- 1
ベトナム	1	3.0	+ 1
マレーシア	1	3.0	+ 1



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

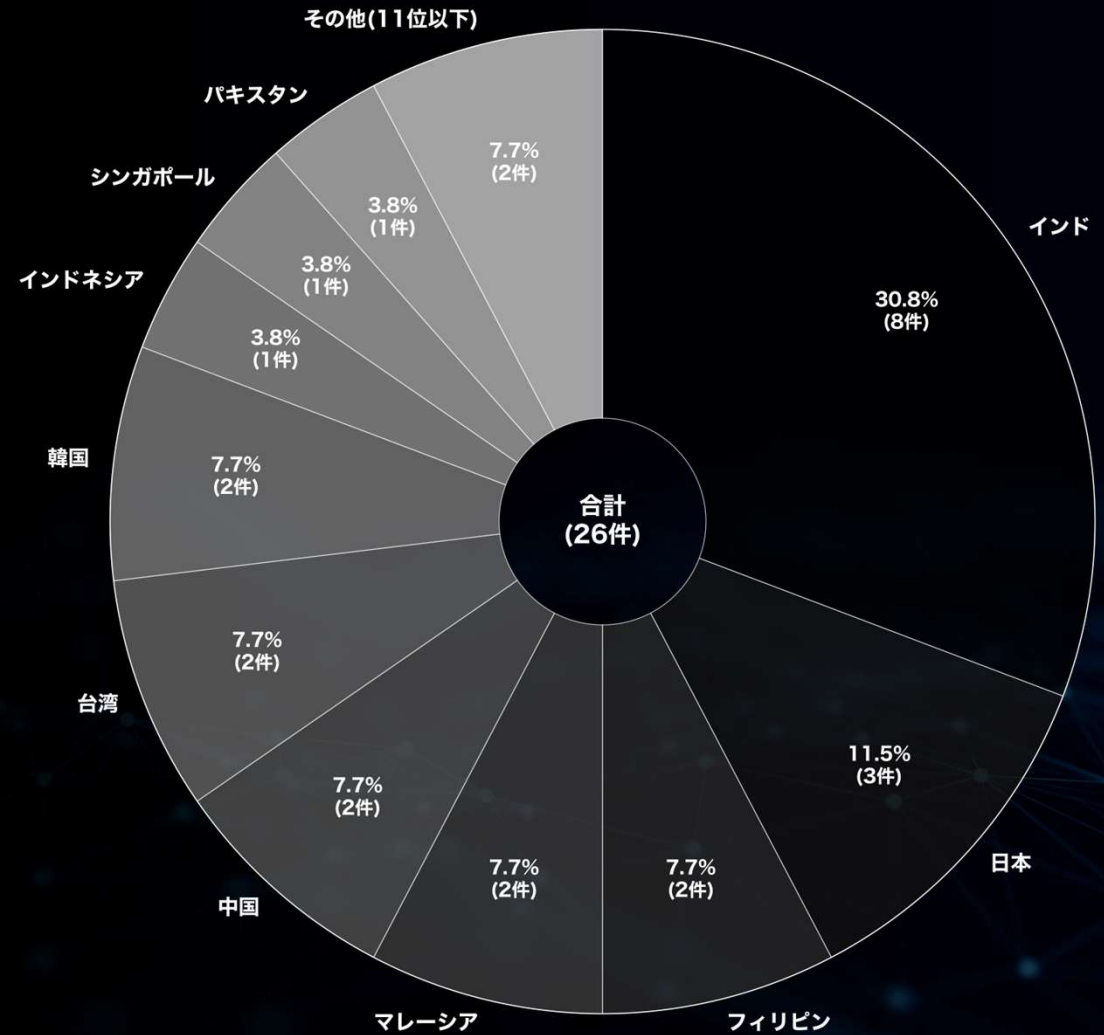
月別内訳 被害国TOP10

(2024年 8月 / アジア) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けたアジア諸国の割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順/同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

国名	件数	割合(%)	前月比(件数)
インド	8	30.8	+ 3
日本	3	11.5	- 2
フィリピン	2	7.7	+ 2
マレーシア	2	7.7	+ 1
中国	2	7.7	- 1
台湾	2	7.7	± 0
韓国	2	7.7	+ 1
インドネシア	1	3.8	- 3
シンガポール	1	3.8	- 4
パキスタン	1	3.8	- 1



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

業種 月別統計

(全世界) (過去3ヶ月分)

2024

8

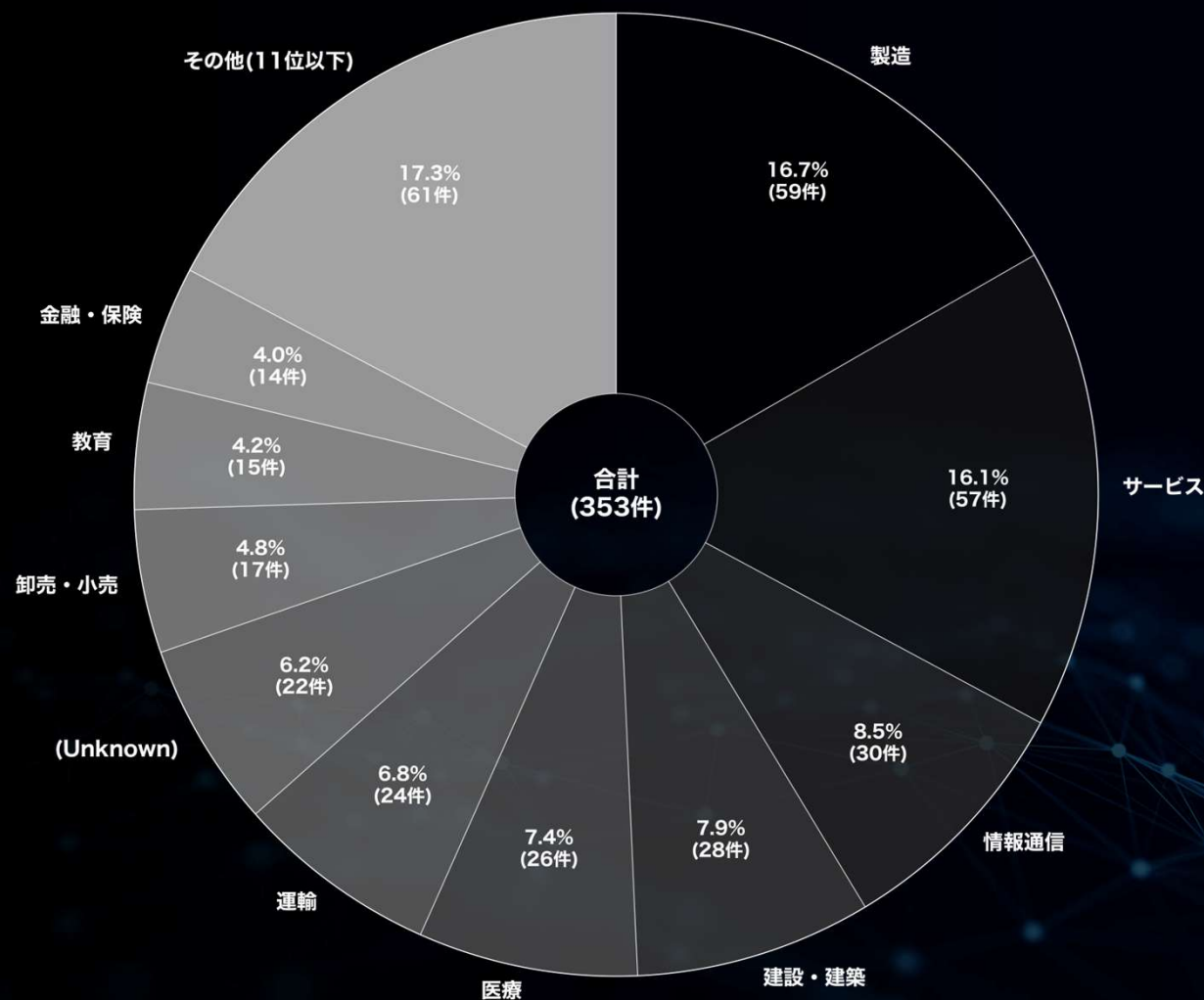
月別内訳 業種 TOP10

(2024年 6月 / 全世界) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けた組織の業種割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順 / 同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

業種	件数	割合(%)	前月比(件数)
製造	59	16.7	- 45
サービス	57	16.1	- 13
情報通信	30	8.5	- 18
建設・建築	28	7.9	- 21
医療	26	7.4	- 18
運輸	24	6.8	± 0
(Unknown)	22	6.2	+ 11
卸売・小売	17	4.8	- 17
教育	15	4.2	- 17
金融・保険	14	4.0	- 9



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

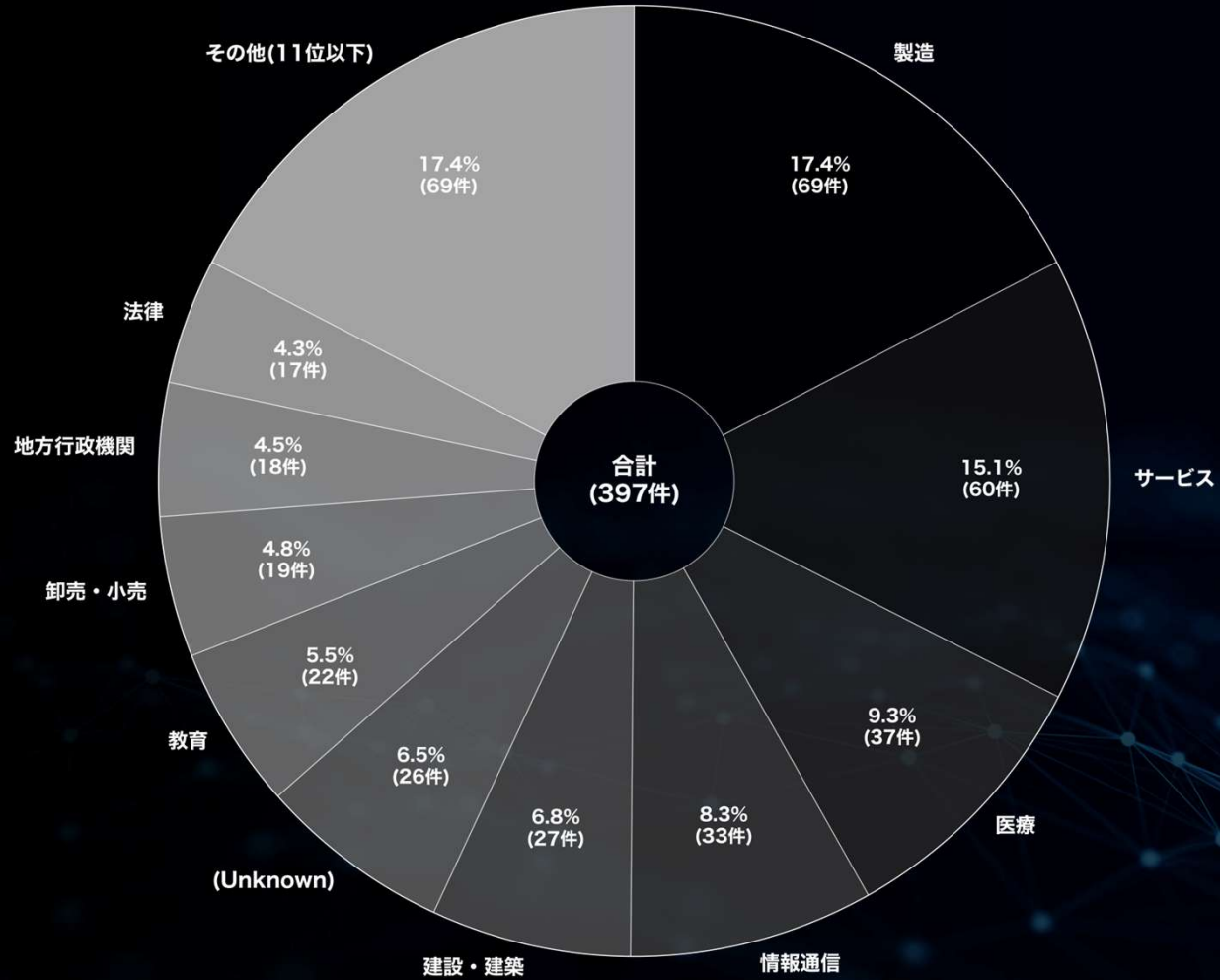
月別内訳 業種 TOP10

(2024年 7月 / 全世界) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けた組織の業種割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順 / 同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

業種	件数	割合(%)	前月比(件数)
製造	69	17.4	+ 10
サービス	60	15.1	+ 3
医療	37	9.3	+ 11
情報通信	33	8.3	+ 3
建設・建築	27	6.8	- 1
(Unknown)	26	6.5	+ 4
教育	22	5.5	+ 7
卸売・小売	19	4.8	+ 2
地方行政機関	18	4.5	+ 9
法律	17	4.3	+ 5



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

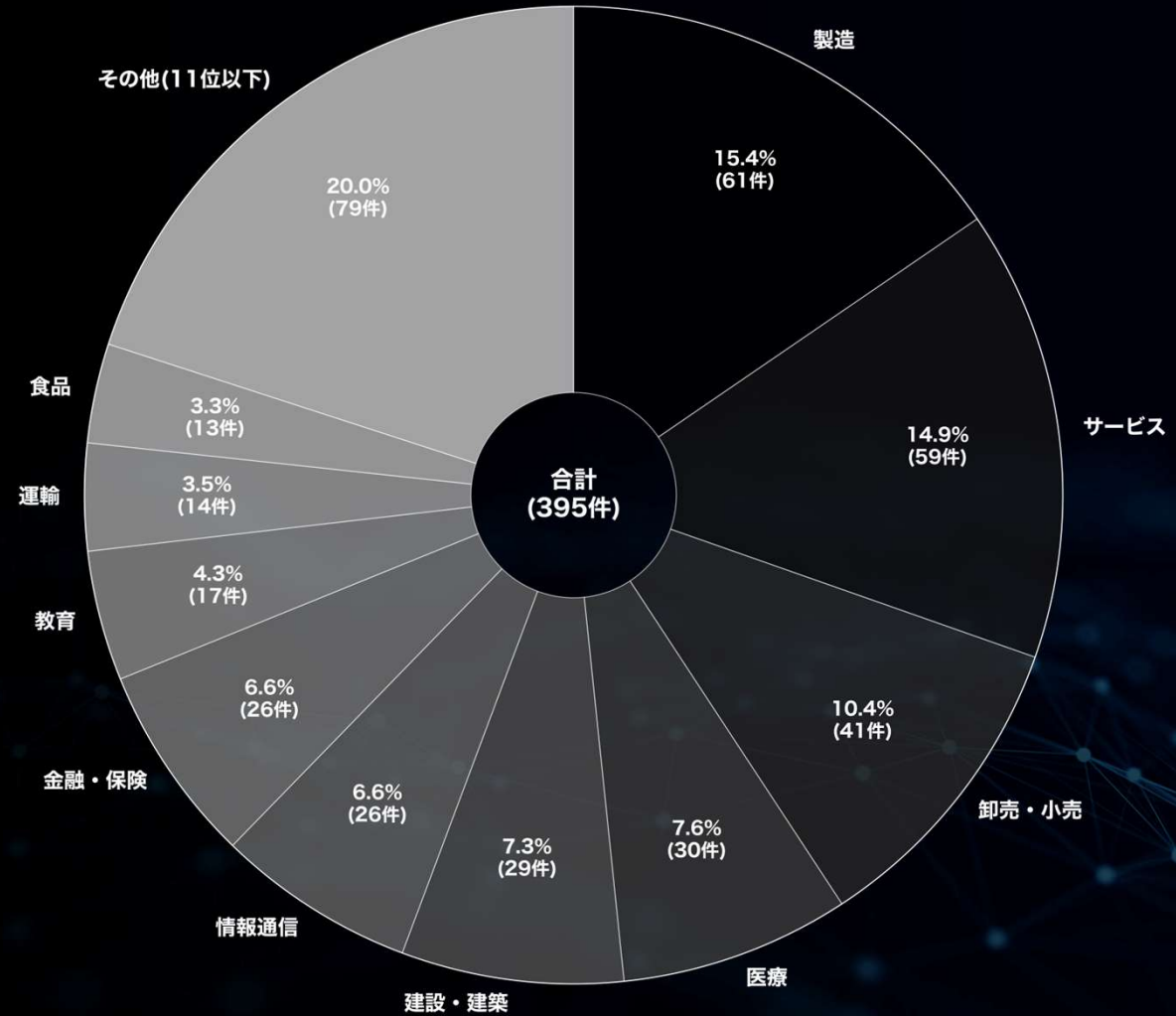
月別内訳 業種 TOP10

(2024年 8月 / 全世界) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃を受けた組織の業種割合
(リークサイトの掲載数による比較)

※件数順に降順/同件数のものが含まれる場合は名前順でTOP10までを記載

業種	件数	割合 (%)	前月比(件数)
製造	61	15.4	- 8
サービス	59	14.9	- 1
卸売・小売	41	10.4	+ 22
医療	30	7.6	- 7
建設・建築	29	7.3	+ 2
情報通信	26	6.6	- 7
金融・保険	26	6.6	+ 16
教育	17	4.3	- 5
運輸	14	3.5	+ 4
食品	13	3.3	- 1



※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

2024

8

被害数の推移に関する統計

(全世界及び国内)

被害数の推移

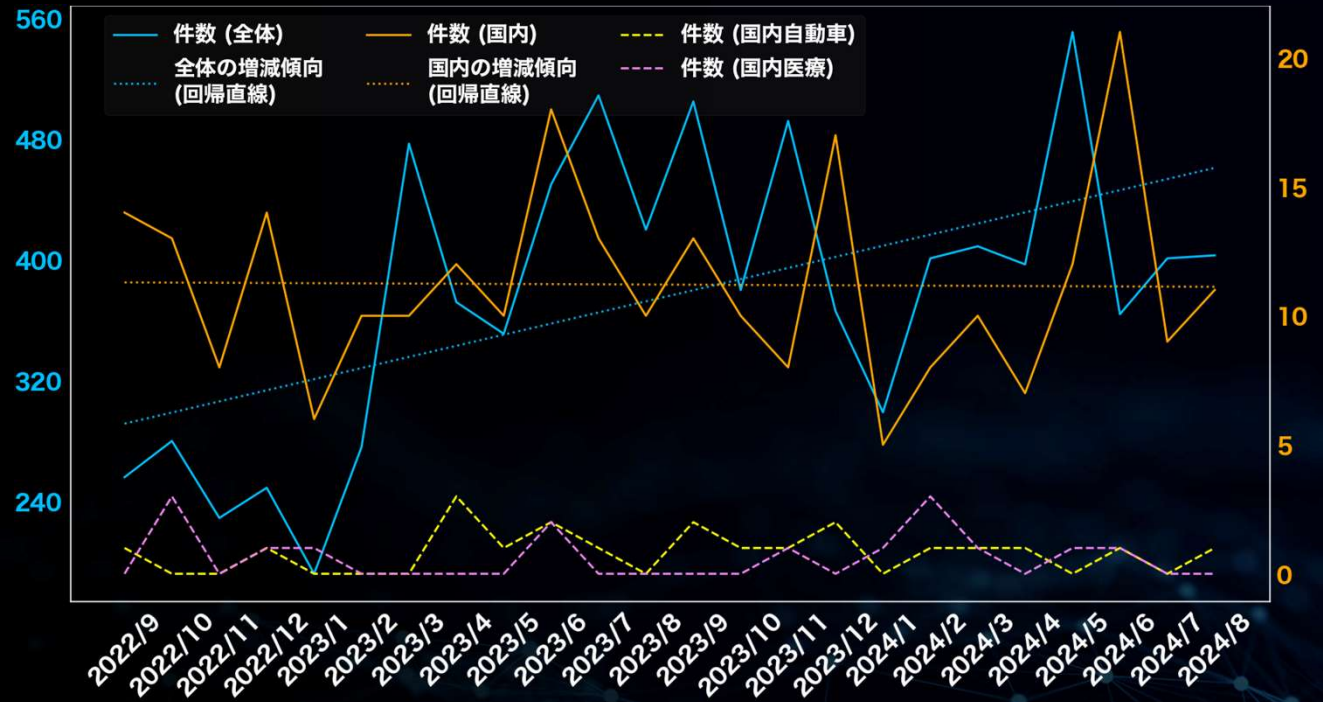
(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月 / **全世界及び国内**) (MBSD調べ)

※件数には公表や報道から判明した数も含む

期間	件数 (全体)	件数 (国内)	件数 (国内自動車)	件数 (国内医療)
2022/9	256	14	1	0
2022/10	280	13	0	3
2022/11	229	8	0	0
2022/12	249	14	1	1
2023/1	192	6	0	1
2023/2	276	10	0	0
2023/3	477	10	0	0
2023/4	372	12	3	0
2023/5	351	10	1	0
2023/6	450	18	2	2
2023/7	509	13	1	0
2023/8	420	10	0	0
2023/9	505	13	2	0
2023/10	380	10	1	0
2023/11	492	8	1	1
2023/12	366	17	2	0
2024/1	299	5	0	1
2024/2	401	8	1	3
2024/3	409	10	1	1
2024/4	397	7	1	0
2024/5	551	12	0	1
2024/6	364	21	1	1
2024/7	401	9	0	0
2024/8	403	11	1	0
合計	9029	269	20	15

▼過去2年間におけるランサムウェア全体の活動推移 (全リークサイトの掲載総数の推移)

※全体統計に併せ、よく注目されがちな国内の2業種をピックアップして掲載している。



(※本ページの表/グラフの各値は、日本にフォーカスする関係上、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

資本金別 月別統計 (国内)

2024

8

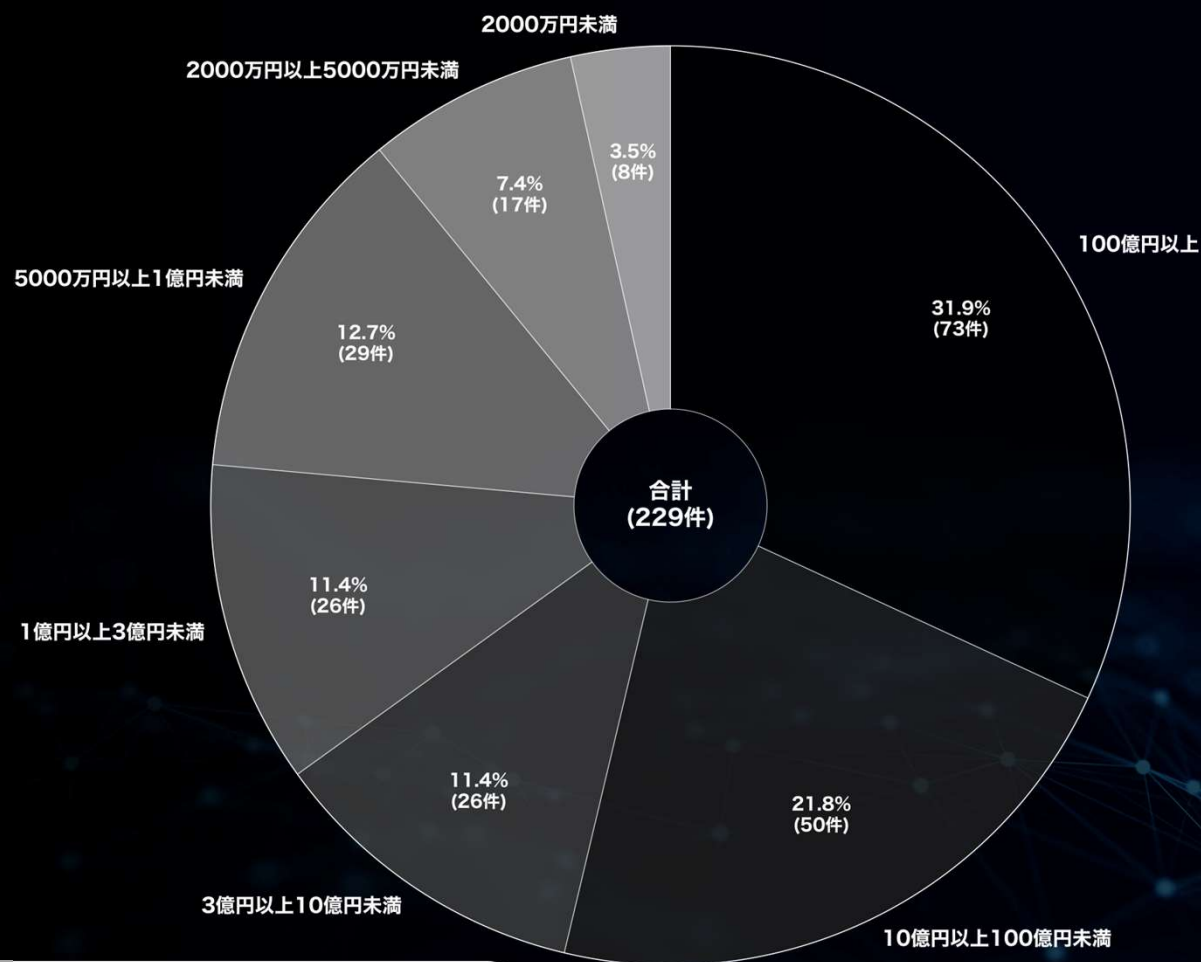
月別内訳 資本金別

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月 / 国内) (MBSD調べ)

※資本金順に降順 / 資本金情報を公表していない一部の被害組織は除外

▼ランサムウェア攻撃を受けた日本関連組織の規模 (資本金)

資本金	件数	割合 (%)
100億円以上	73	31.9
10億円以上100億円未満	50	21.8
3億円以上10億円未満	26	11.4
1億円以上3億円未満	26	11.4
5000万円以上1億円未満	29	12.7
2000万円以上5000万円未満	17	7.4
2000万円未満	8	3.5



▼このうち中小企業に該当する割合

- ・ 3億円未満が該当するとした場合：35.0%
- ・ 10億円未満が該当するとした場合：46.4%

(※本ページの表/グラフの各値は、日本にフォーカスする関係上、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

公表と暴露に関する統計

(国内)

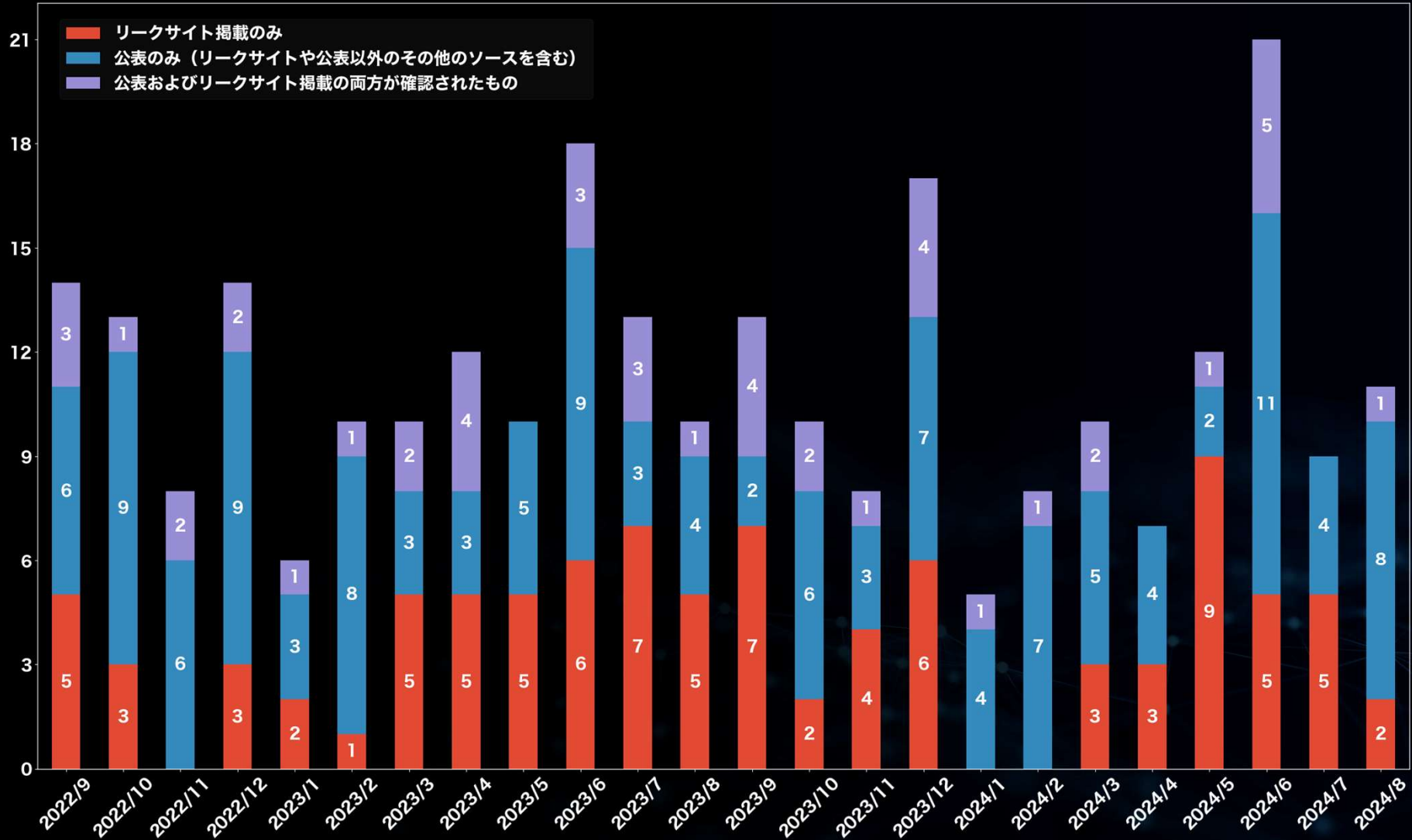
2024

8

公表割合 月別内訳

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月 / 国内) (MBSD調べ)

▼ランサムウェア攻撃における公表数と掲載数の分析



(※本ページの表／グラフの各値は、日本にフォーカスする関係上、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

公となった国内被害組織 概要一覧

2024

8

公となった国内被害組織概要一覧

(過去1年間 / 2023年9月～2024年8月) (MBSD調べ)



※ (Unknown) の表記は攻撃グループ名が不明または公表されていないケースを表す。
 ※ (海外拠点) の表記は公表等により海外拠点であると判明した被害組織を表す。

被害月	攻撃グループ	業種概要
2023/9	LockBit	大手塗料メーカー(海外拠点)
2023/9	Money Message	インターホン製品販売メーカー(海外拠点)
2023/9	Qilin (Agenda)	大手繊維製品メーカー(海外拠点)
2023/9	BlackByte	自動車部品メーカー
2023/9	AKIRA	パッケージ製品メーカー(海外拠点)
2023/9	Ragnar Locker	情報機器製品販売会社(海外拠点)
2023/9	(Unknown)	建材メーカー
2023/9	(Unknown)	大手住宅メーカー
2023/9	AlphV (BlackCat)	大手運輸サービス会社(海外拠点)
2023/9	STORMOUS	大手電子機器メーカー
2023/9	AlphV (BlackCat)	自動車部品メーカー(海外拠点)
2023/9	Ransomed.vc	大手テクノロジー企業
2023/9	Ransomed.vc	大手情報通信会社(攻撃声明に誤り / 被害なし)
2023/10	NoEscape	自動車部品メーカー
2023/10	PLAY	眼鏡メーカー
2023/10	AlphV (BlackCat)	大手専門商社
2023/10	Ransomed.vc	インターネットプロバイダー
2023/10	(Unknown)	大手衣類販売会社
2023/10	(Unknown)	電子部品サービス会社
2023/10	(Unknown)	農業支援会社
2023/10	(Unknown)	国立大学
2023/10	(Unknown)	制御機器メーカー
2023/10	(Unknown)	小売店経営会社
2023/11	LockBit	自転車部品メーカー
2023/11	(Unknown)	耐火製品メーカー
2023/11	AlphV (BlackCat)	畜産機器メーカー
2023/11	AlphV (BlackCat)	大手電子部品メーカー

被害月	攻撃グループ	業種概要
2023/11	(Unknown)	公立病院
2023/11	Hunters International	大手機械部品メーカー
2023/11	Medusa	金融サービス会社(海外拠点)
2023/11	INC Ransom	大手輸送用機器メーカー(海外拠点)
2023/12	LockBit	エネルギーサービス運営管理会社
2023/12	AKIRA	大手自動車メーカー(海外拠点)
2023/12	(Unknown)	大手出版社
2023/12	PLAY	産業用品メーカー(海外拠点)
2023/12	KNIGHT	プラスチック加工会社
2023/12	(Unknown)	IoTサービス会社
2023/12	(Unknown)	地域事業
2023/12	LockBit	社会福祉法人
2023/12	(Unknown)	レジャー用品販売
2023/12	(Unknown)	一般社団法人
2023/12	(Unknown)	システムコンサルティング会社
2023/12	BlackBasta	大手ガラス製品メーカー(海外拠点)
2023/12	(Unknown)	地方新聞社
2023/12	RA GROUP	自動車部品メーカー(海外拠点)
2023/12	DragonForce	大手食品メーカー(海外拠点)
2023/12	LockBit	大手服飾メーカー
2023/12	AlphV (BlackCat)	統合型リゾート施設(海外拠点)
2024/1	(Unknown)	国立研究開発法人
2024/1	LockBit	包装用品メーカー
2024/1	(Unknown)	漁網総合メーカー
2024/1	LockBit	公益財団法人
2024/1	(Unknown)	建設機材サービス

被害月	攻撃グループ	業種概要
2024/2	(Unknown)	医療関連製品卸売業
2024/2	(Unknown)	ITサービス会社
2024/2	(Unknown)	医療検査機関
2024/2	LockBit	自動車部品メーカー
2024/2	LockBit	化学メーカー
2024/2	(Unknown)	総合商店運営
2024/2	(Unknown)	物流サービス会社
2024/2	(Unknown)	医療機関
2024/3	AlphV (BlackCat)	大手建設会社
2024/3	Medusa	大手電機メーカー(海外拠点)
2024/3	(Unknown)	放送事業会社
2024/3	(Unknown)	情報システムサービス会社
2024/3	(Unknown)	システム開発会社
2024/3	LockBit	合成繊維製造会社
2024/3	LockBit	合成繊維製造会社
2024/3	8BASE	自動車部品メーカー(海外拠点)
2024/3	(Unknown)	建設関連事業会社
2024/3	Hunters International	医療機器メーカー
2024/4	8BASE	電子部品メーカー
2024/4	STORMOUS	大手電機メーカー(海外拠点)
2024/4	Hunters International	大手自動車メーカー(海外拠点)
2024/4	(Unknown)	繊維製品サプライヤー
2024/4	(Unknown)	ポルトメーカー
2024/4	LockBit	アクセサリパーツメーカー
2024/4	(Unknown)	電子機器サプライヤー
2024/5	LockBit	製紙会社(海外拠点)

(※本ページの表の情報は、日本にフォーカスする関係上、リークサイトに掲載された情報に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した情報も含む)

公となった国内被害組織概要一覧

(過去1年間/2023年9月~2024年8月) (MBSD調べ)



※ (Unknown) の表記は攻撃グループ名が不明または公表されていないケースを表す。
 ※ (海外拠点) の表記は公表等により海外拠点であると判明した被害組織を表す。

被害月	攻撃グループ	業種概要
2024/5	Hunters International	音響関連機器メーカー(海外拠点)
2024/5	CLOP (CLOP)	大手文房具メーカー(海外拠点)
2024/5	(Unknown)	化学製品メーカー
2024/5	Ransomhub	ソフトウェア企業
2024/5	RansomHouse	建築部品メーカー
2024/5	(Unknown)	地方独立行政法人
2024/5	LockBit	ITサービス会社(海外拠点)
2024/5	8BASE	協同組合
2024/5	8BASE	OAサプライ用品メーカー
2024/5	8BASE	農業機械販売会社
2024/5	8BASE	税理士法人
2024/6	(Unknown)	電子機器メーカー
2024/6	(Unknown)	総合ITサービス企業
2024/6	8BASE	電動機メーカー(海外拠点)
2024/6	8BASE	ITサービス会社
2024/6	(Unknown)	製薬会社
2024/6	AKIRA	大手電機メーカー(海外拠点)
2024/6	(Unknown)	機械部品メーカー
2024/6	(Unknown)	化学メーカー(海外拠点)
2024/6	(Unknown)	総合会計・コンサルティンググループ
2024/6	BlackSuit	大手出版社
2024/6	(Unknown)	通信機器販売業者
2024/6	CACTUS	アパレルメーカー
2024/6	INC Ransom	工業機械メーカー(海外拠点)
2024/6	(Unknown)	仏具メーカー
2024/6	(Unknown)	建設コンサルタント会社

被害月	攻撃グループ	業種概要
2024/6	CACTUS	内装材メーカー(海外拠点)
2024/6	8BASE	総合インフラ施工会社
2024/6	8BASE	総合建設メーカー
2024/6	LockBit	通信機器メーカー
2024/6	(Unknown)	食品メーカー
2024/6	(Unknown)	総合エンジニアリング会社
2024/7	Ransomhub	大手システムインテグレーター(海外拠点)
2024/7	(Unknown)	電子機器メーカー(海外拠点)
2024/7	Lockbit	レンタルサービス会社
2024/7	(Unknown)	印刷サービス会社
2024/7	(Unknown)	大手総合ディスプレイ企業
2024/7	Hunters International	光学レンズメーカー
2024/7	Ransomhub	大手建設会社
2024/7	MEOU	空調機器メーカー
2024/7	CACTUS	電子部品メーカー(海外拠点)
2024/8	(Unknown)	介護サービスプロバイダー
2024/8	Everest	精密機器メーカー(海外拠点)
2024/8	(Unknown)	システムインテグレーター
2024/8	(Unknown)	ペット用品メーカー
2024/8	(Unknown)	ヘルスケア用品メーカー
2024/8	(Unknown)	化学製品商社
2024/8	(Unknown)	学校法人
2024/8	(Unknown)	公益財団法人
2024/8	(Unknown)	電子機器メーカー
2024/8	Everest	大手化学メーカー
2024/8	RansomHub	大手自動車メーカー(海外拠点)

(※本ページの表の情報は、日本にフォーカスする関係上、リークサイトに掲載された情報に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した情報も含む)

公となった国内被害組織における拠点割合

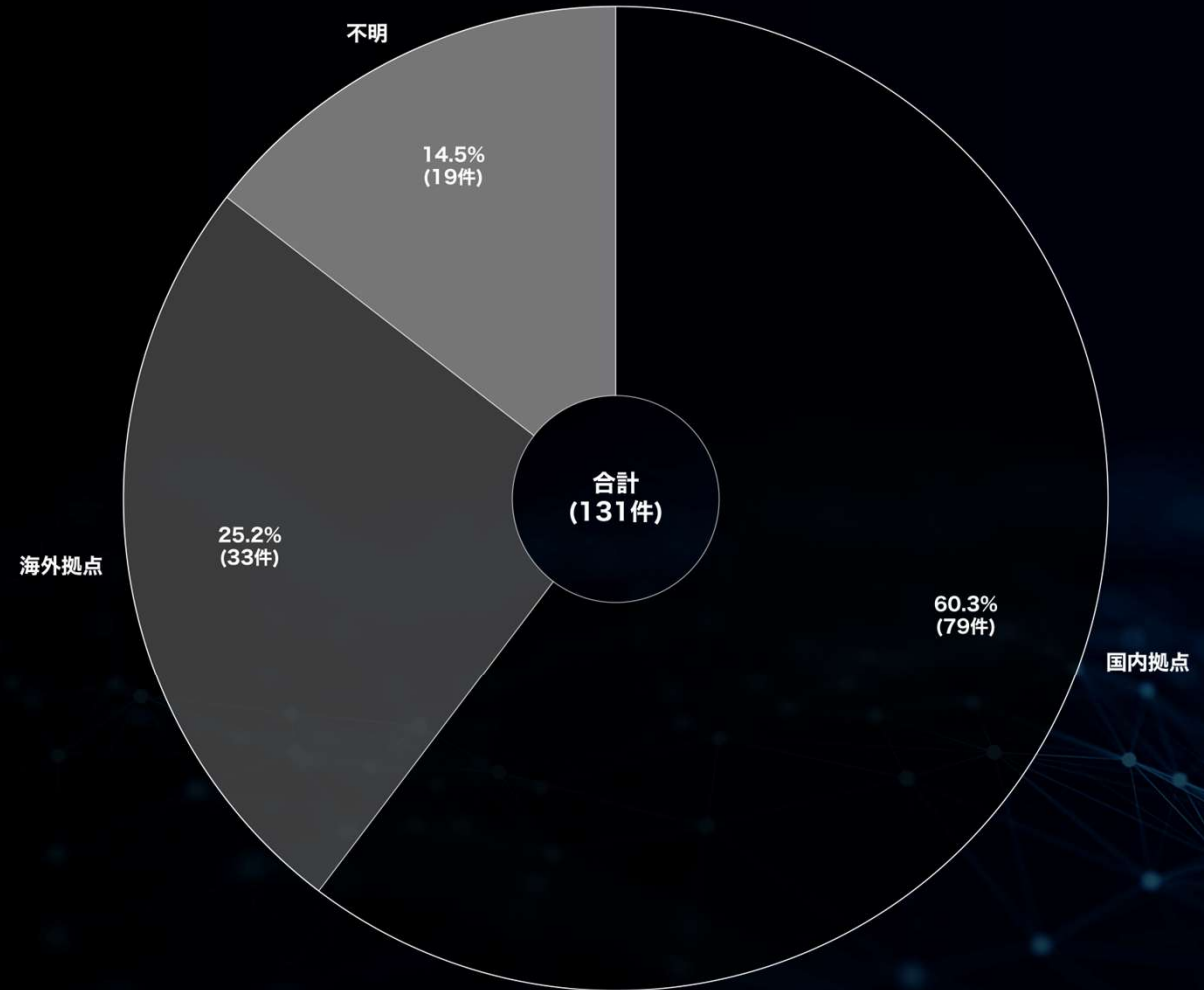
(過去1年間／2023年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

(※左下の補足記載のとおり、リークサイトへの掲載や公表から確認ができた被害組織に限定し算出された値である事にあらためて注意)

▼ランサムウェア攻撃を受けた日本関連組織の拠点別割合

※
 「国内拠点」：公表等により、国内拠点における被害事案と判断されるケース数
 「海外拠点」：公表等により、海外拠点（支社／関係会社）における被害事案と判断されるケース数
 「不明」：上記以外、被害拠点の地域的情報が得られなかったケース数

拠点	件数	割合(%)
国内拠点	79	60.3
海外拠点	33	25.2
不明	19	14.5



(※本ページの表／グラフの各値は、日本にフォーカスする関係上、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

公となった国内被害組織における業種割合

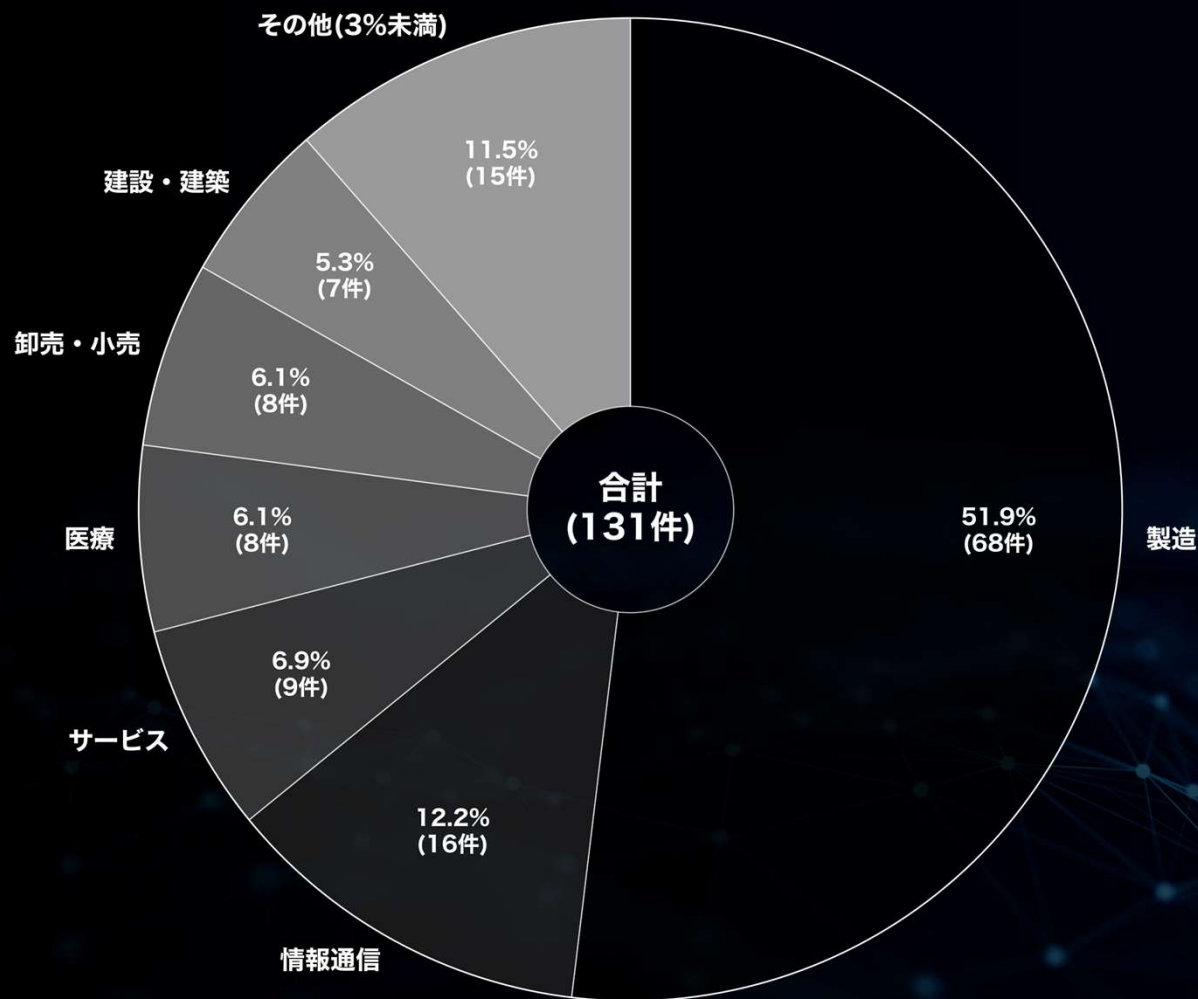
(過去1年間／2023年9月～2024年8月) (MBSD調べ)



Know your enemy.
Defense leadership.®

▼ランサムウェア攻撃を受けた日本関連組織の業種別割合

業種	件数	割合(%)
製造	68	51.9%
情報通信	16	12.2%
サービス	9	6.9%
医療	8	6.1%
卸売・小売	8	6.1%
建設・建築	7	5.3%
その他(3%未満)	15	11.5%



(※本ページの表／グラフの各値は、日本にフォーカスする関係上、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

多重被害に関する分析

2024

8

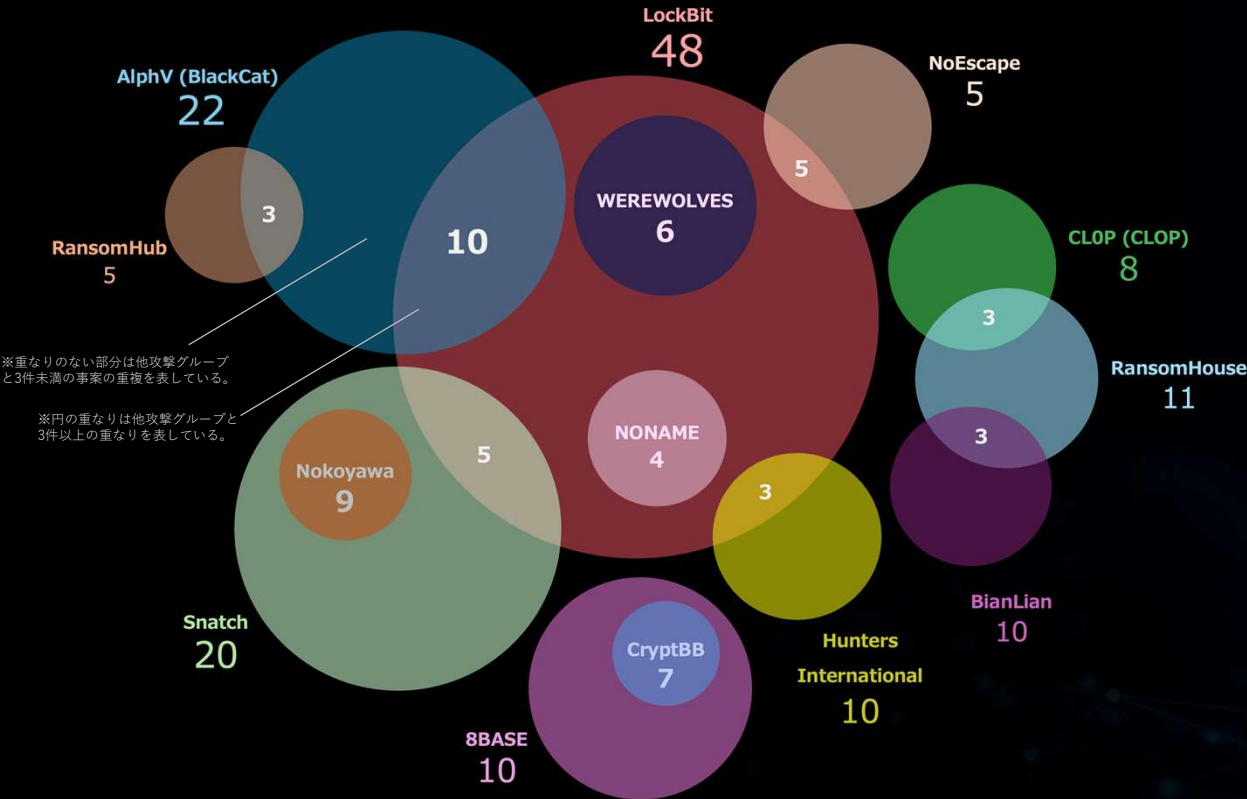
繰り返し暴露された事案数の集計と攻撃グループ間の関係性

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月 / 累計131件) (MBSD調べ)

※多重被害に遭った組織数の累計



Know your enemy.
Defense leadership.®



※重ならない部分は他攻撃グループと3件未満の事案の重複を表している。

※円の重なりは他攻撃グループと3件以上の重なりを表している。

※異なる攻撃グループによるリークサイトへの掲載件数を元に算出

ランサムウェア攻撃の被害の中には、データを盗まれたのちにリークサイトで暴露され、さらに異なる攻撃グループのリークサイトなどから二度三度と繰り返し暴露されるケースがある。つまり言い換えると、ランサムウェア攻撃の被害組織の中には、複数回にわたってリークサイトに情報が掲載される「多重被害」に遭う組織が存在する。

近年の有名な事例としては、AlphV (BlackCat)のアフィリエイトが被害組織のデータを他の攻撃グループに持ち込んだことで、その被害組織が異なる攻撃グループから連続して脅迫されてしまったというケースが挙げられる。これは攻撃グループの内部で起きた報酬支払いに関する内輪揉めが原因であるが、多重被害の原因は多岐にわたる。

例えば

- ・ 被害後の対策不足による再侵入
- ・ 攻撃グループ間の連携によるデータの横流し
- ・ 攻撃グループによる他グループのリークサイトやハッカーフォーラムからのデータ盗用
- ・ 攻撃グループメンバーやアフィリエイトによるデータの持ち出しなどが理由の一部として挙げられる。

一度盗まれたデータの流用を完全に防ぐことは困難だが、複数回の侵入による多重被害は、インシデント発生時の適切な対応とその後の対策により、防御の可能性を大幅に高めることができる。ランサムウェア被害発生を想定し、有事の際に冷静な対応ができるよう、対策のための情報の一つとして多重被害の実態を把握しておくことも重要である。

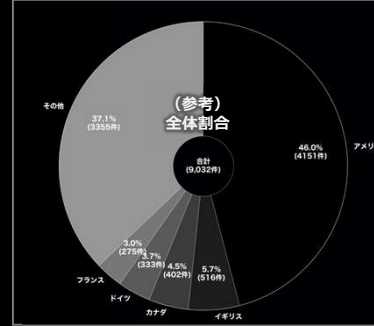
※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

多重被害に遭った被害組織の傾向と分析

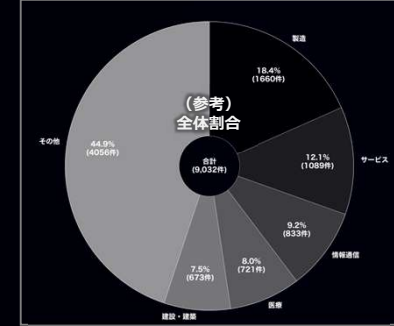
(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

※多重被害：一度ランサムウェア攻撃の被害を受けた組織が異なる時期に異なる攻撃グループのリークサイトに再び掲載されるケース

(参考比較) 同期間の全データにおける割合

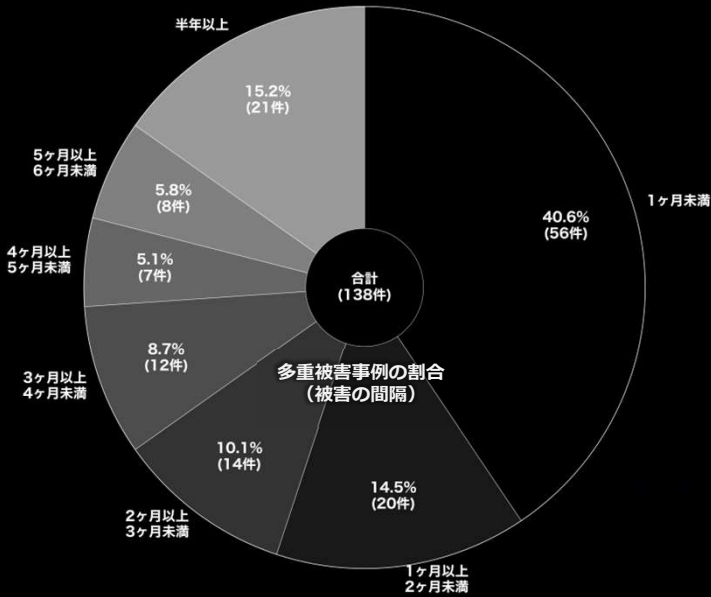


(参考比較) 同期間の全データにおける割合

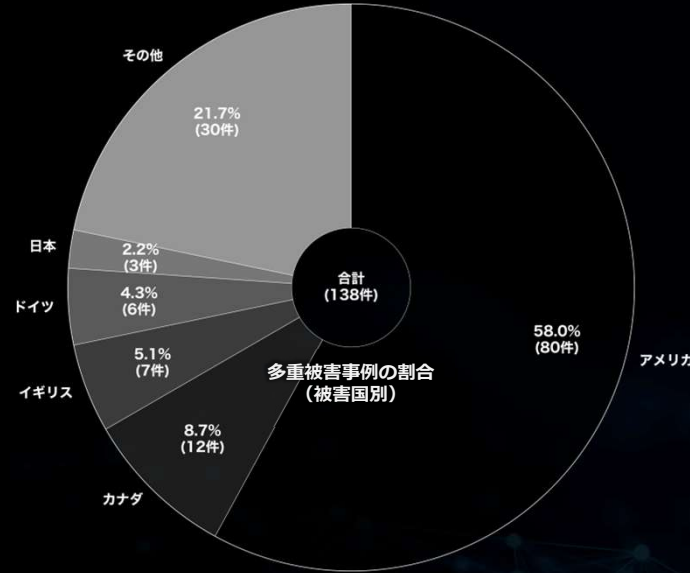


▼被害の間隔

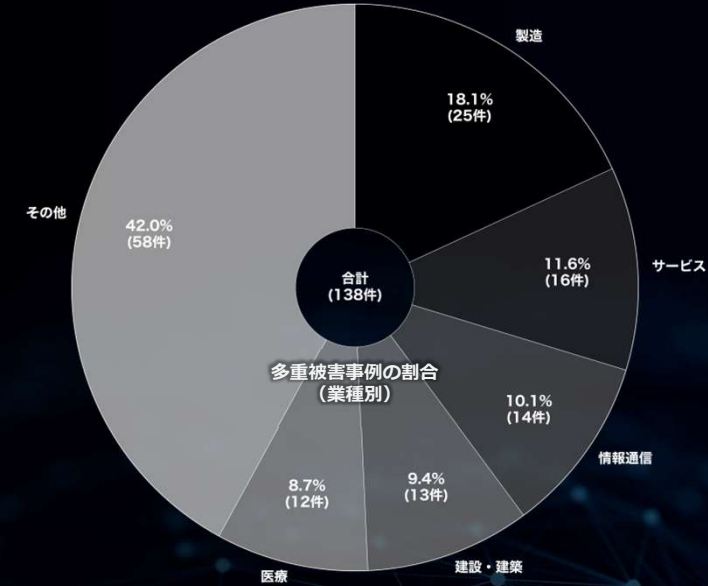
(一度目の被害から二度目の被害までの間隔)



▼被害国別



▼業種別



▶多重被害に遭った組織数の累計：**138**件 (全体9032件中) ※異なる攻撃グループによるリークサイトへの掲載件数を示し算出

全体母数からの割合は少ないものの、一度ランサムウェア攻撃を受けた被害組織は、異なる時期に異なる攻撃グループによって再びリークサイトへ掲載される被害を繰り返す場合があり、中には3回以上被害に遭うケースもある。これは事後対応が不十分で再び侵入されるケースや、流出した暴露データが裏で共有・拡散され繰り返し脅されるケースなどの背景があると考えられる。被害国や業種の観点ではほぼ全体割合の縮図となっているものの、最も注目すべきは繰り返される「被害の間隔」であり、実に50%以上が一度目の掲載から2ヶ月以内に再び発生していることが判明した。これら多重被害の事例には日本関連の組織も含まれており、一度侵入されデータ窃取されれば、いかなる組織でも多重被害に遭う可能性がある事を示す。こうした被害を防ぐためには、日頃からの対策に加え万が一ランサムウェアの被害に遭っても身代金を支払わない(脅せば支払う組織であると認知されてしまう)ことや、繰り返しの侵入を防ぐために侵入経路の徹底的な洗い出し等の事後対応・再発防止策の実施が不可欠である。

業種に関する分析

(過去2年間のリークサイト掲載上位10業種)

2024

8

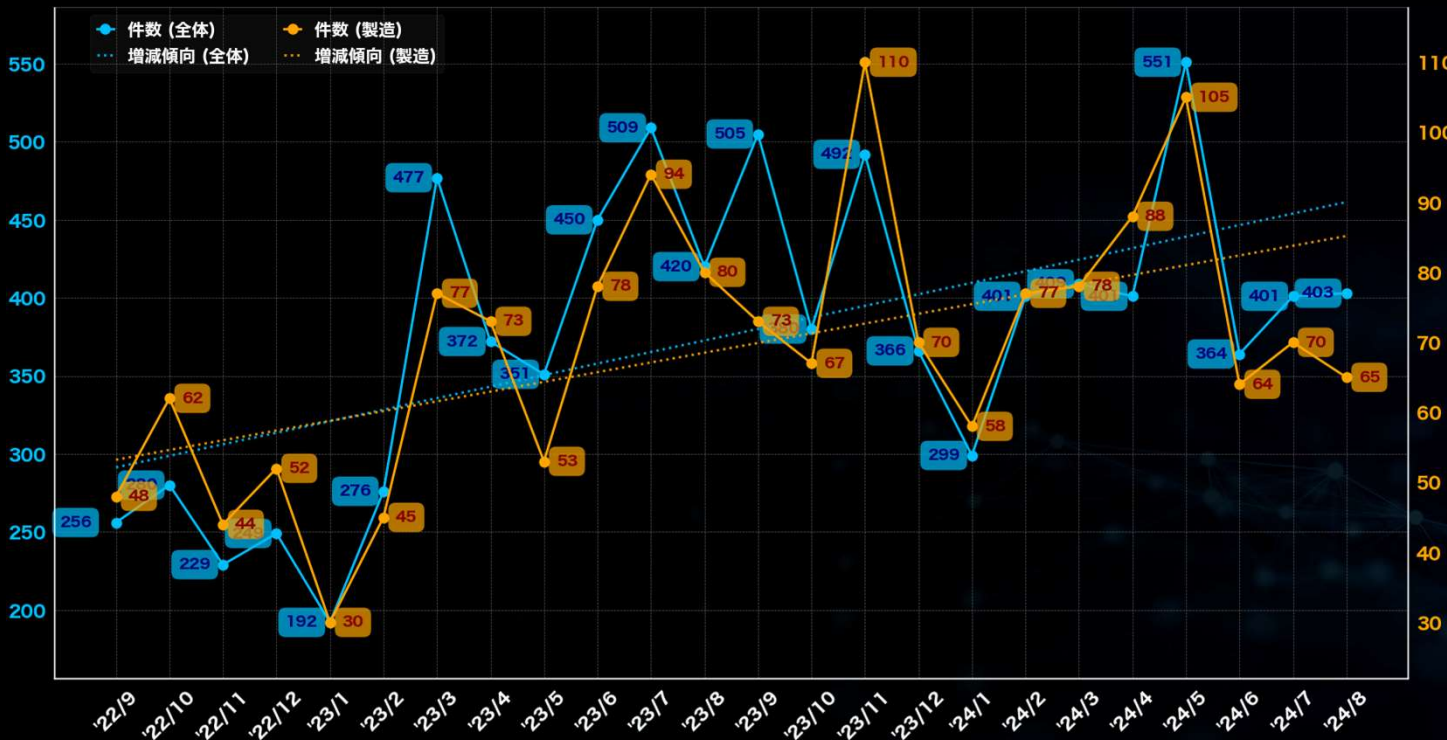
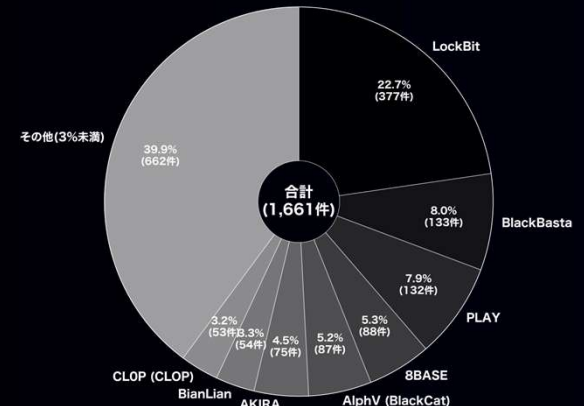
業種に関する分析

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

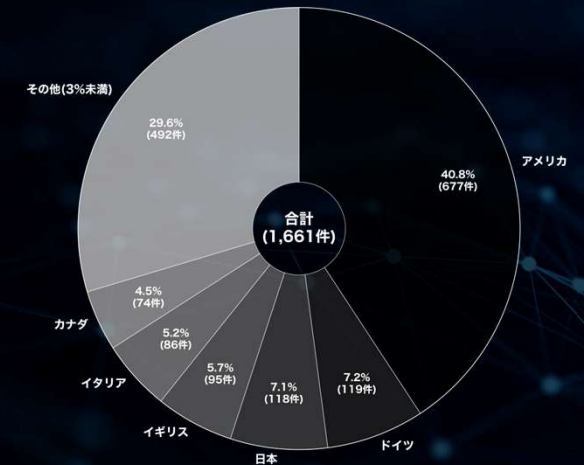
製造

「製造」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2023年11月で、110件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2023年1月で、30件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約41%と最も多く、次いでドイツと日本がそれぞれ約7%と約7%である。攻撃グループについては、少なくとも85のグループが関与しており、特に「LockBit」が377件のリークサイト掲載を実施している。次いで「BlackBasta」と「PLAY」がそれぞれ133件と132件の掲載を行っている。製造関連の件数は全体件数に対して高い割合で推移しており、全体件数を引き上げている。全世界的に被害が多い業種であるが、日本関連組織においても多くの被害が出ている状況や、長期に渡り増加傾向にあることから、今後も国内外問わず被害が増加する可能性がある。

▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

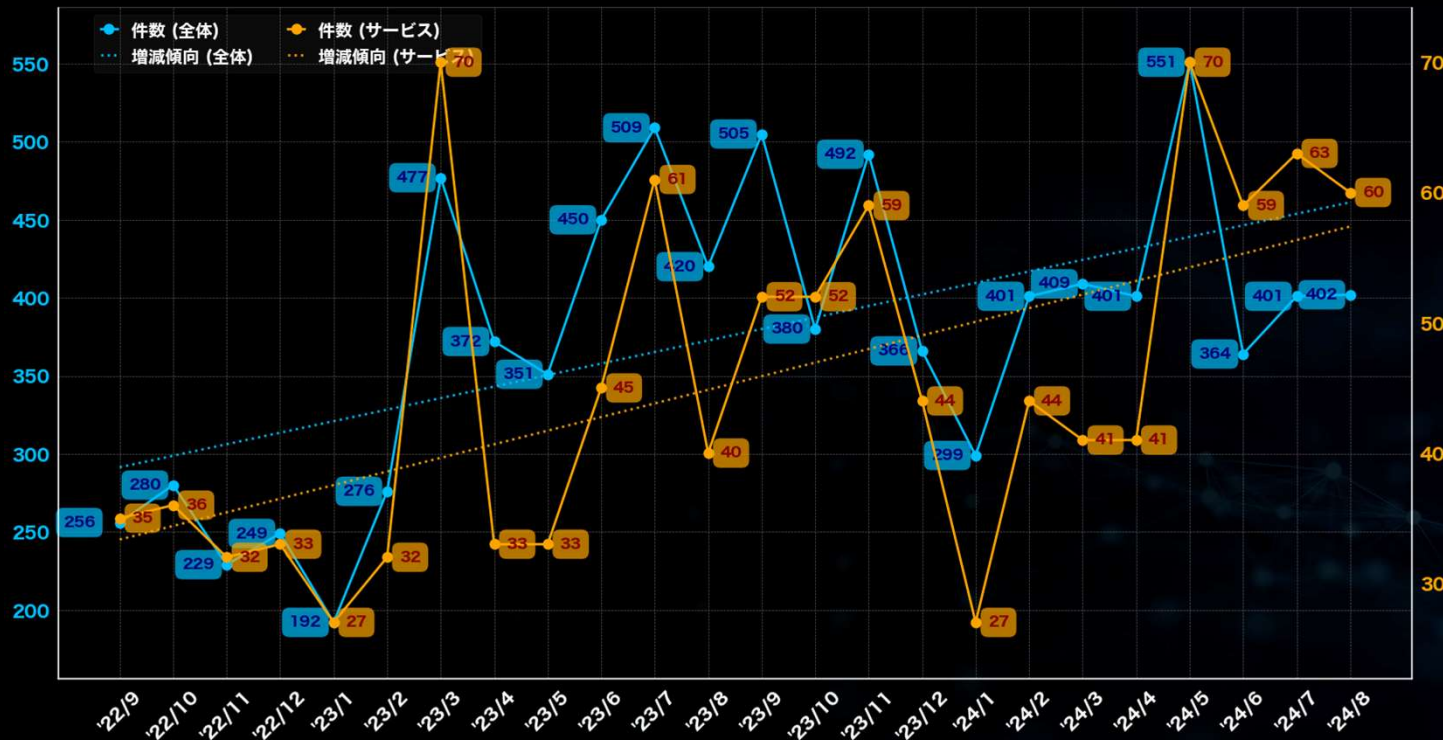
※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

業種に関する分析

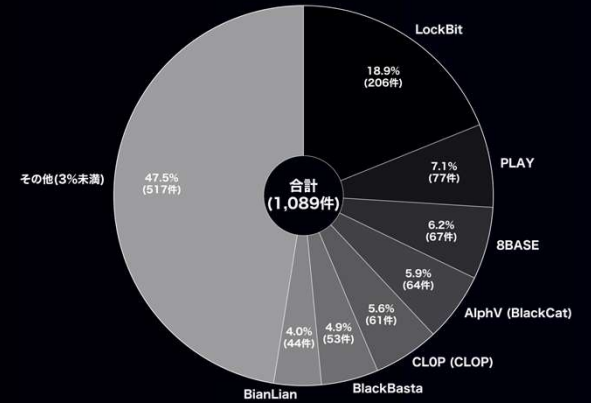
(過去2年間／2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

サービス

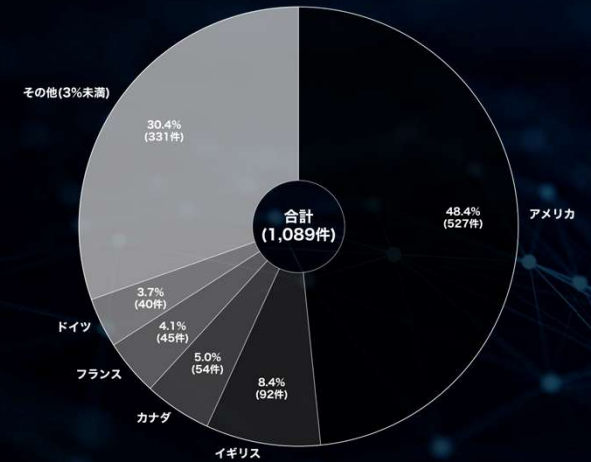
「サービス」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2023年3月で、70件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2023年1月で、27件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約48%と最も多く、次いでイギリスとカナダがそれぞれ約8%と約5%である。攻撃グループについては、少なくとも87のグループが関与しており、特に「LockBit」が206件のリークサイト掲載を実施している。次いで「PLAY」と「8BASE」がそれぞれ77件と67件の掲載を行っている。サービス関連の件数は製造関連と同じく全体件数に対し、高い割合をキープしており、年々その割合は高まっている。



▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

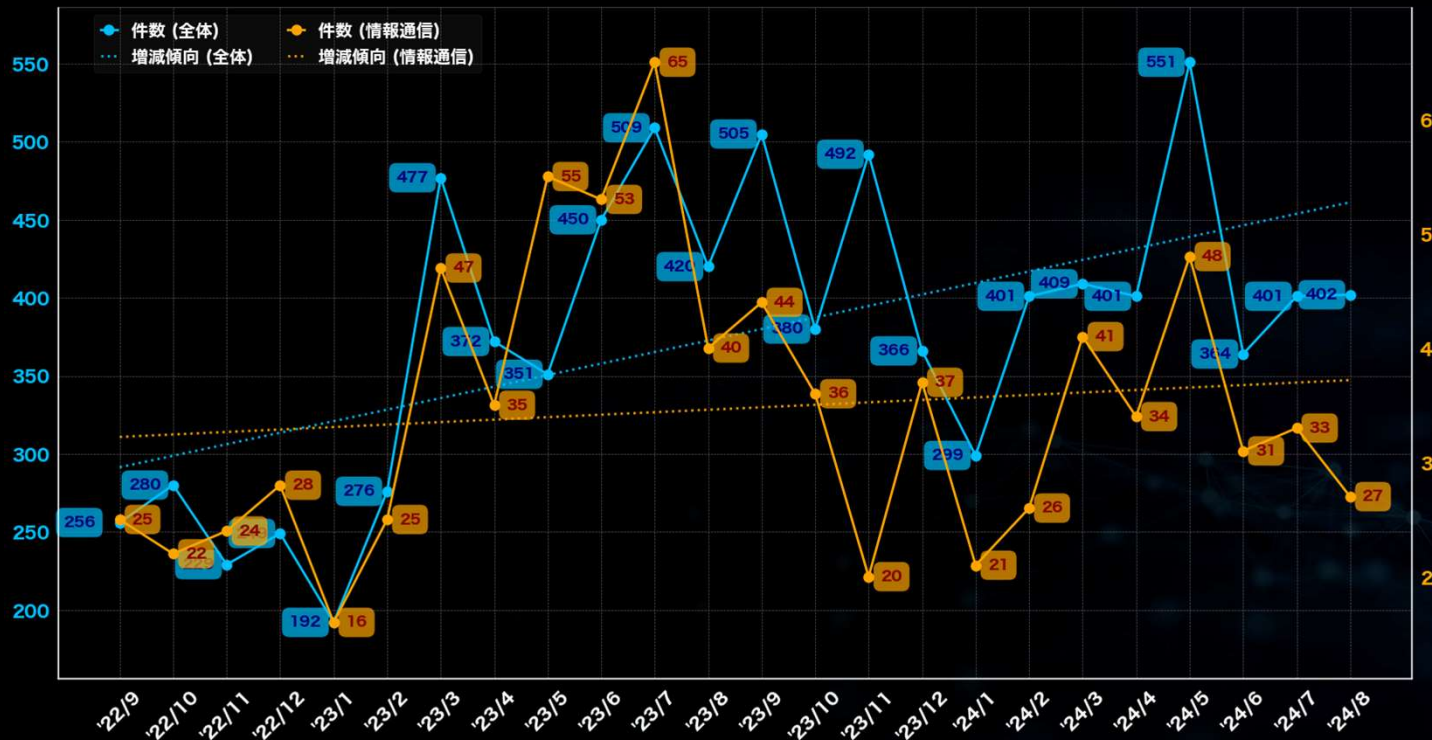
※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

業種に関する分析

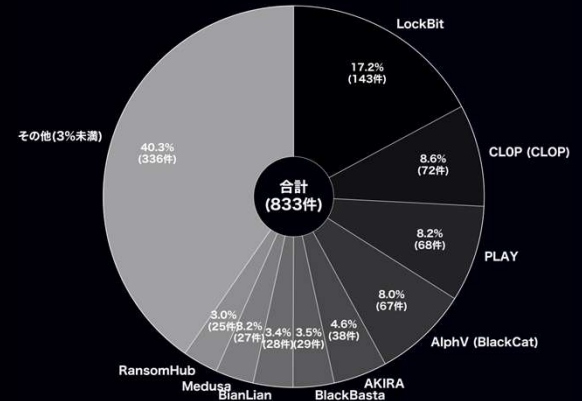
(過去2年間／2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

情報通信

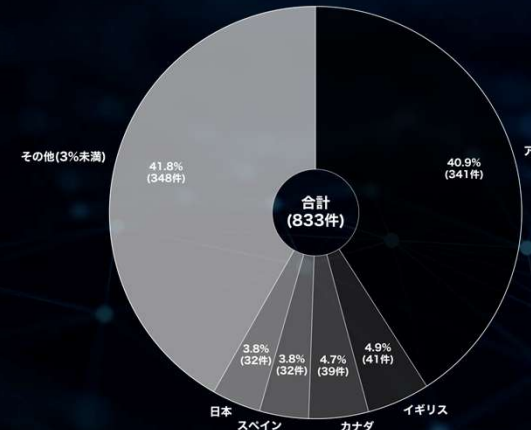
「情報通信」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2023年7月で、65件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2023年1月で、16件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約41%と最も多く、次いでイギリスとカナダがそれぞれ約5%と約5%である。攻撃グループについては、少なくとも81のグループが関与しており、特に「LockBit」が143件のリークサイト掲載を実施している。次いで「CLOP (CLOP)」と「PLAY」がそれぞれ72件と68件の掲載を行っている。情報通信関連の件数は、全体件数と比較してほぼ横ばいで推移している。過去2年間におけるリークサイト掲載件数の上位2種である「製造」、「サービス」と比較すると緩やかではあるが、増加傾向にある。



▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

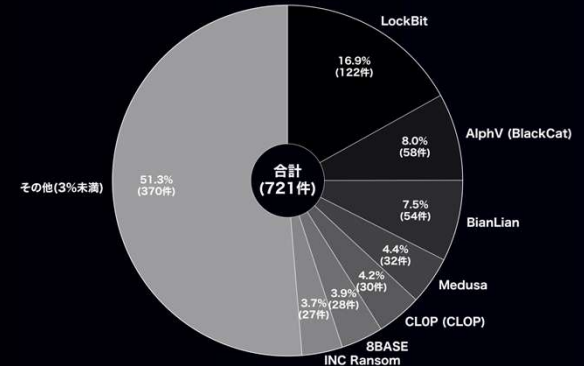
業種に関する分析

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

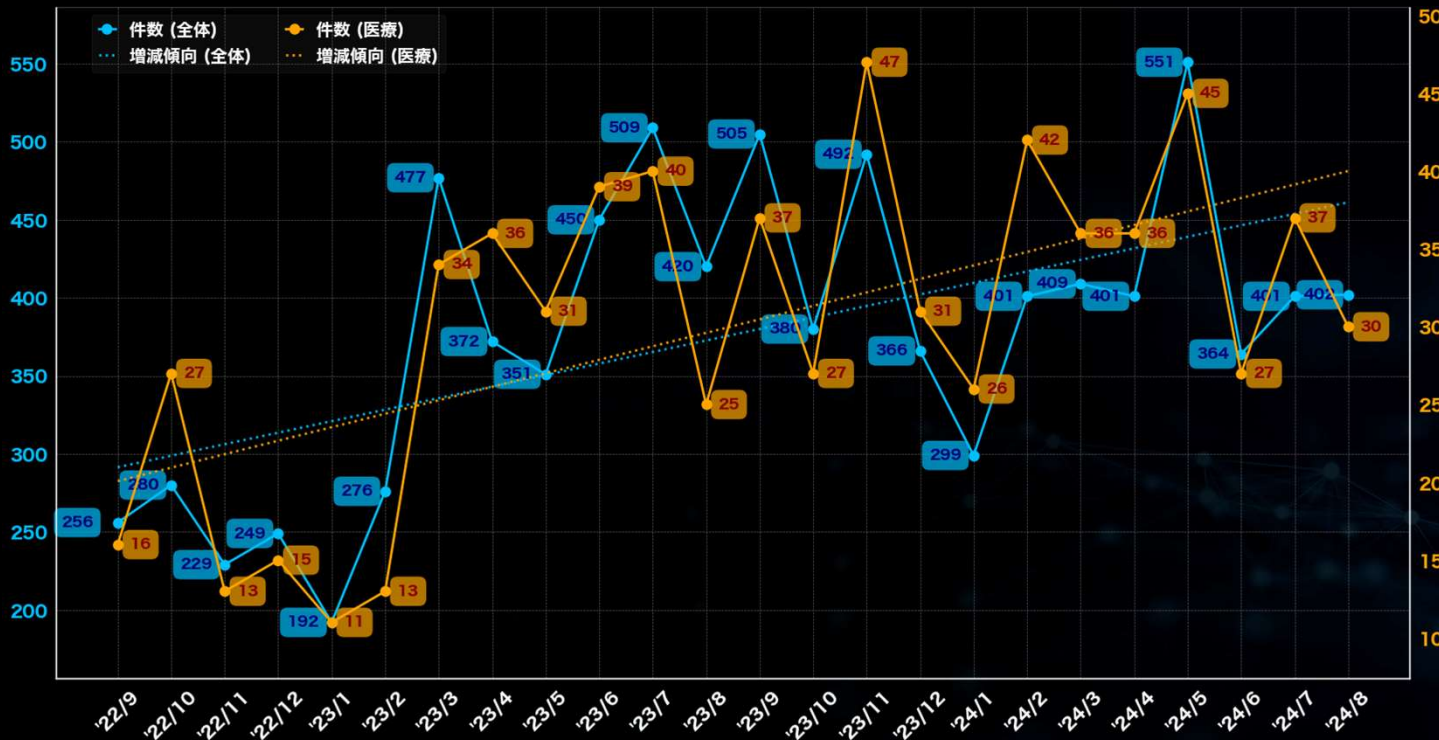
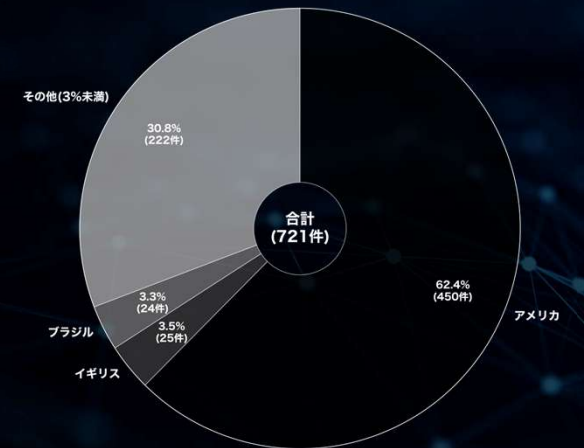
医療

「医療」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2023年11月で、47件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2023年1月で、11件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約62%と最も多く、次いでイギリスとブラジルがそれぞれ約3%と約3%である。攻撃グループについては、少なくとも77のグループが関与しており、特に「LockBit」が122件のリークサイト掲載を実施している。次いで「AlphV (BlackCat)」と「BianLian」がそれぞれ58件と54件の掲載を行っている。医療関連の件数は、2023年5月を境目に全体件数を上回る増加率となっている。該当時期以前は総じて被害数の水準が低かったが、それ以降は高い水準が維持されている。この背景として、以前は医療関連組織への攻撃を避ける攻撃グループが目立っていたが、近年は生き残りをかけ業種問わず攻撃が行われる状況に遷移してきた実情が見え隠れする。また、国別に見る傾向としてアメリカにおける被害が非常に高い割合を占めている点が顕著である。

▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

業種に関する分析

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

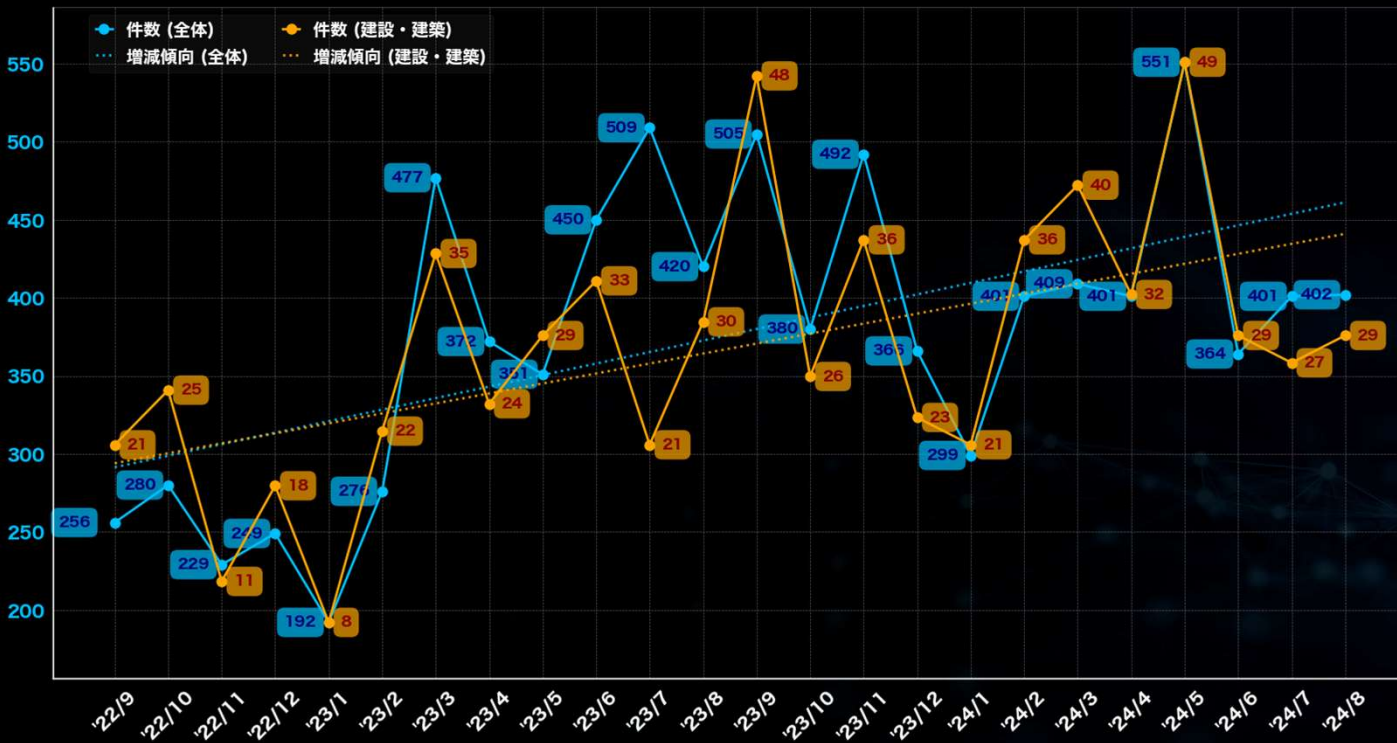
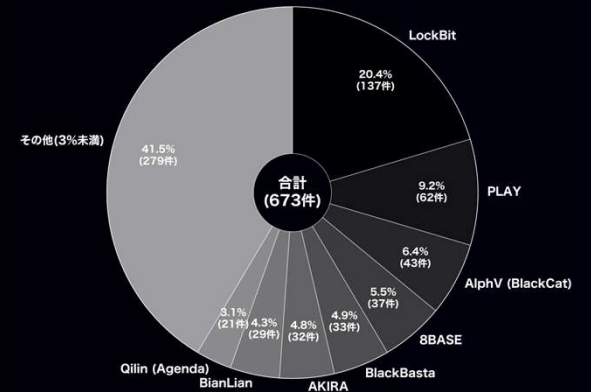


Know your enemy.
Defense leadership.®

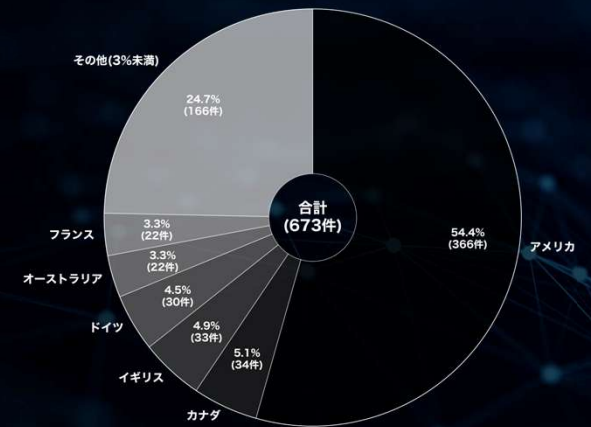
建設・建築

「建設・建築」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2024年5月で、49件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2023年1月で、8件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約54%と最も多く、次いでカナダとイギリスがそれぞれ約5%と約5%である。攻撃グループについては、少なくとも72のグループが関与しており、特に「LockBit」が137件のリークサイト掲載を実施している。次いで「PLAY」と「AlphV (BlackCat)」がそれぞれ62件と43件の掲載を行っている。建設・建築関連は、2年前の全体件数に対する割合と比較すると若干緩やかになったものの、いまだに増加傾向にある。製造関連などと比べると件数は少ないものの、全体件数とほぼ同様の推移を見せている。

▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

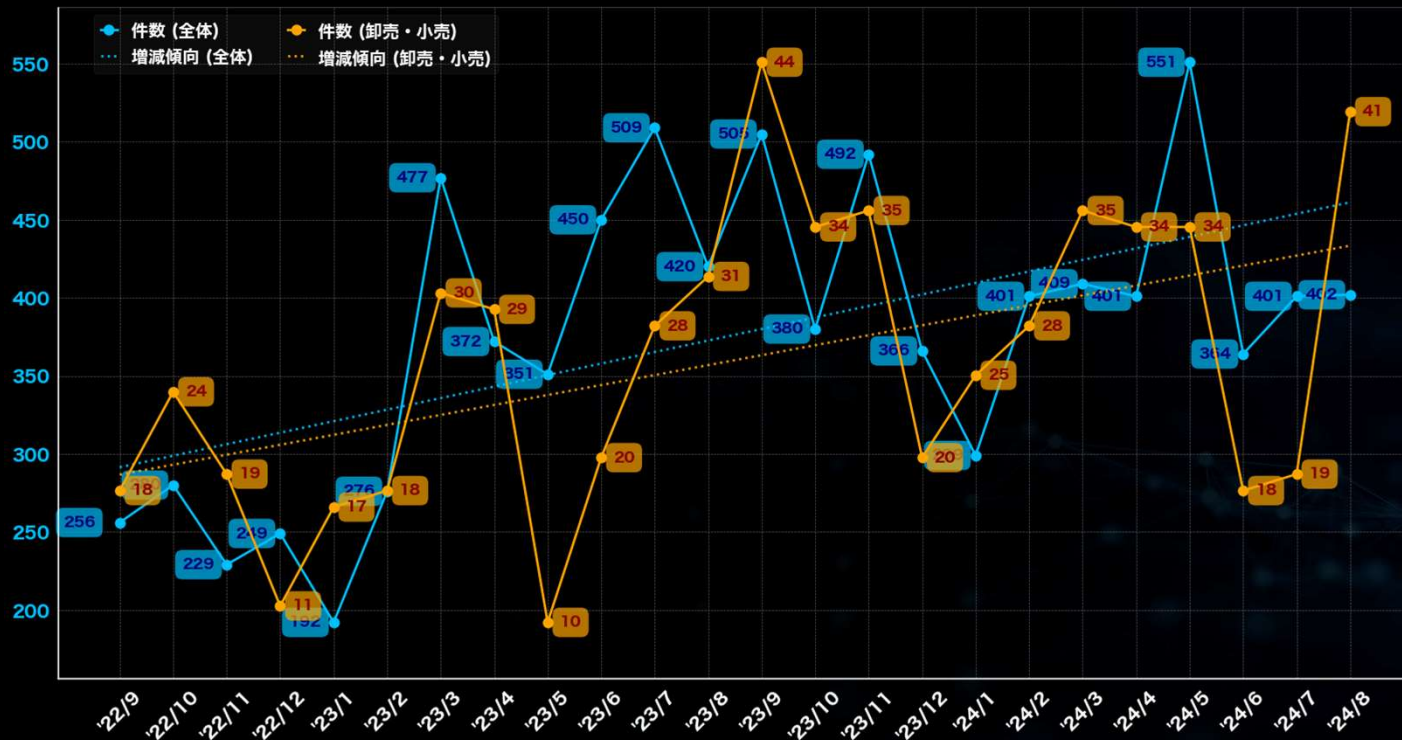
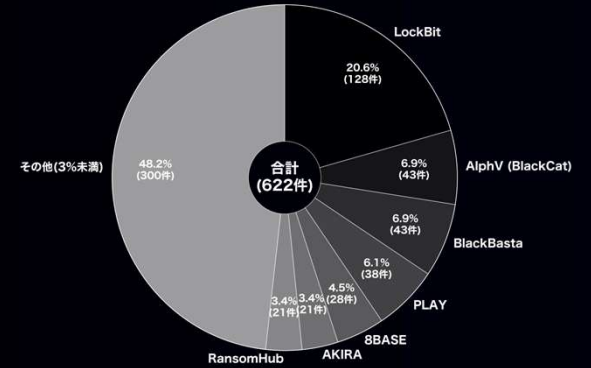
業種に関する分析

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

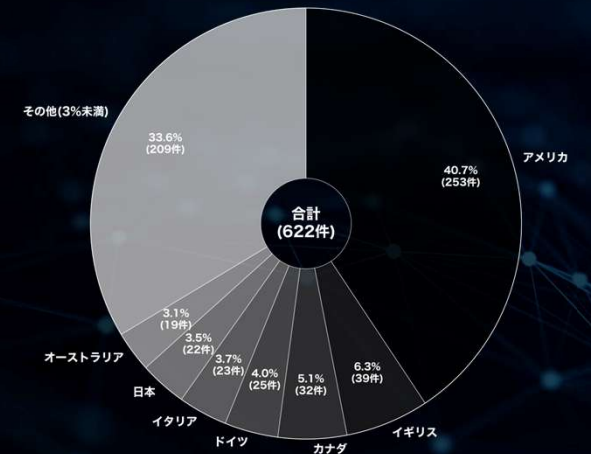
卸売・小売

「卸売・小売」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2023年9月で、44件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2023年5月で、10件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約41%と最も多く、次いでイギリスとカナダがそれぞれ約6%と約5%である。攻撃グループについては、少なくとも74のグループが関与しており、特に「LockBit」が128件のリークサイト掲載を実施している。次いで「AlphV (BlackCat)」と「BlackBasta」がそれぞれ43件と43件の掲載を行っている。卸売・小売関連は大きな増減の波があるものの、過去2年間の推移としては明確な増加傾向がある。また国別の観点では、3%以上を占める国が6カ国と多いことも特徴的で、日本もその中に含まれている。

▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

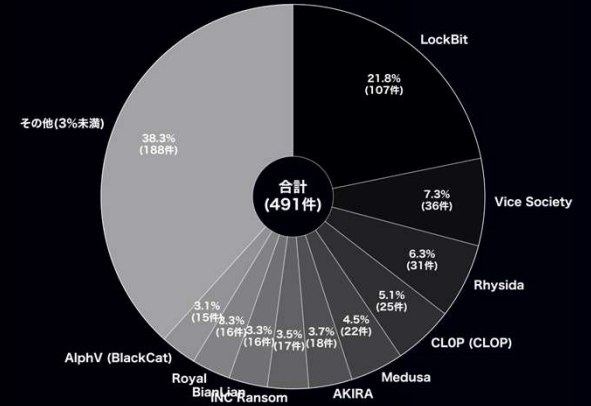
業種に関する分析

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

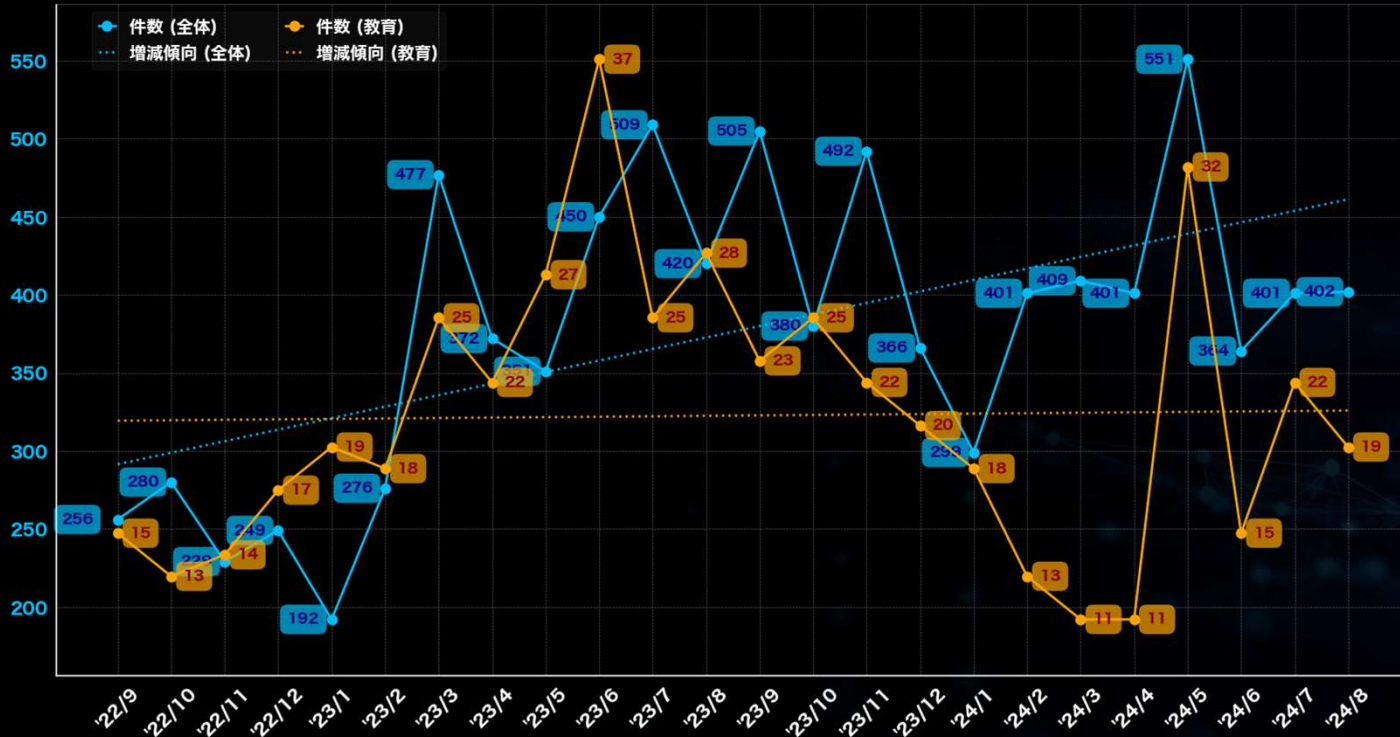
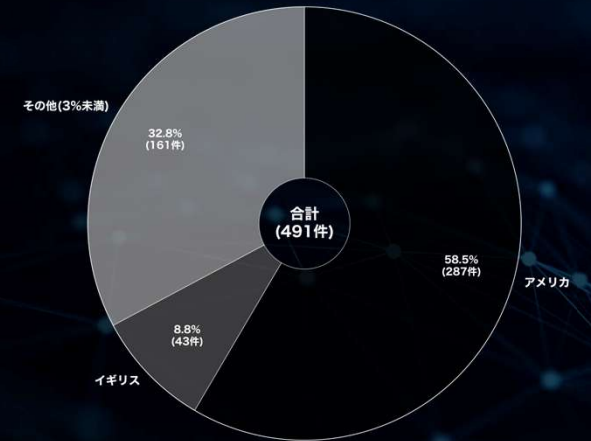
教育

「教育」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2023年6月で、37件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2024年3月で、11件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約58%と最も多く、次いでイギリスとフランスがそれぞれ約9%と約3%である。攻撃グループについては、少なくとも59のグループが関与しており、特に「LockBit」が107件のリークサイト掲載を実施している。次いで「Vice Society」と「Rhysida」がそれぞれ36件と31件の掲載を行っている。教育業界は、攻撃グループ別で見ると、同業界を主な標的の一つとしたVice Societyや、そのリブランドと見られるRhysidaが上位に現れる点特徴的である。全体件数と比較すると過去2年間ではほぼ横ばいの推移を見せている。

▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

業種に関する分析

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

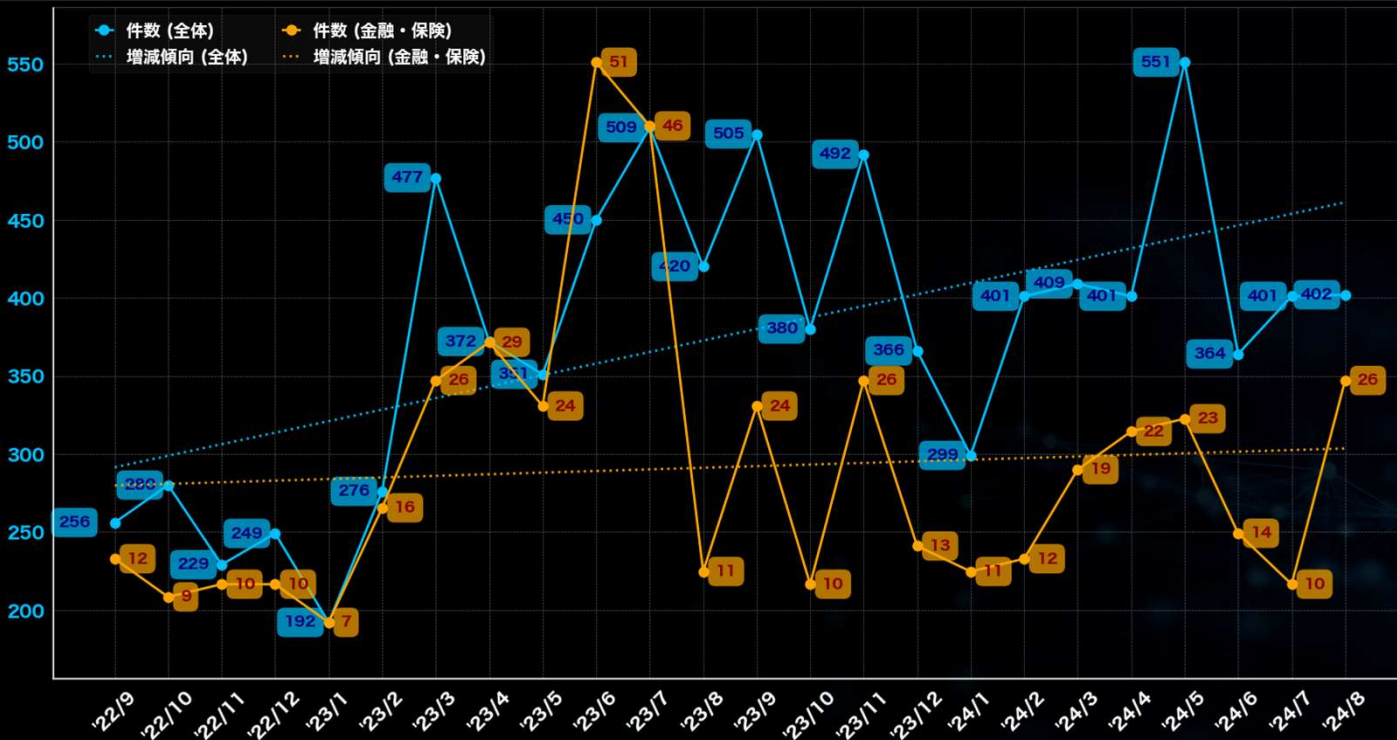
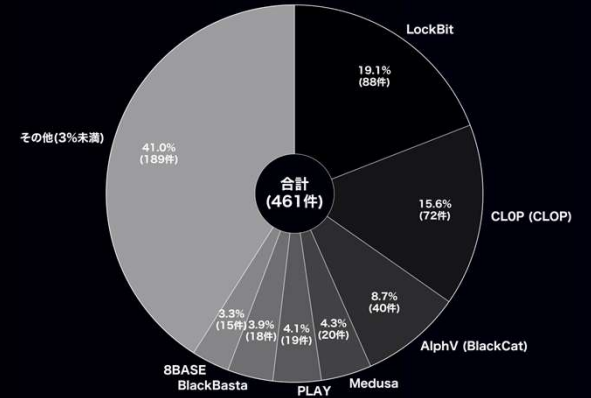


Know your enemy.
Defense leadership.®

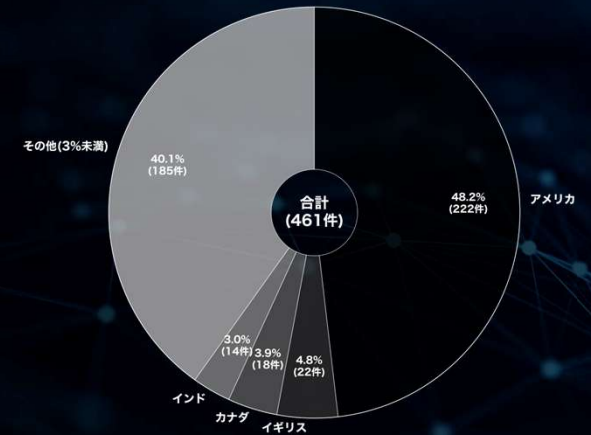
金融・保険

「金融・保険」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、最も多かった月が2023年6月で、51件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2023年1月で、7件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約48%と最も多く、次いでイギリスとカナダがそれぞれ約5%と約4%である。攻撃グループについては、少なくとも69のグループが関与しており、特に「LockBit」が88件のリークサイト掲載を実施している。次いで「CLOP (CLOP)」と「AlphV (BlackCat)」がそれぞれ72件と40件の掲載を行っている。金融・保険関連は、他の業種と比較すると全体件数に対する割合が低くほぼ横ばいの推移を見せているが、過去2年間においては緩やかな増加傾向が見られる。同業界の被害は特にCLOPによる影響が大きく、全体推移を見てもゼロディ攻撃が目立った2023年の5月から7月にかけて被害数の増加が顕著に見られる。CLOPはこのようにゼロディ攻撃を多用する点に加え、そうした状況下において同業界への攻撃傾向が見られる点に、今後も注意が必要である。

▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

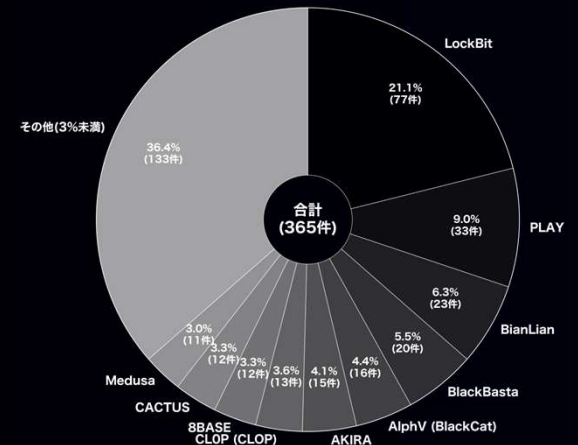
業種に関する分析

(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

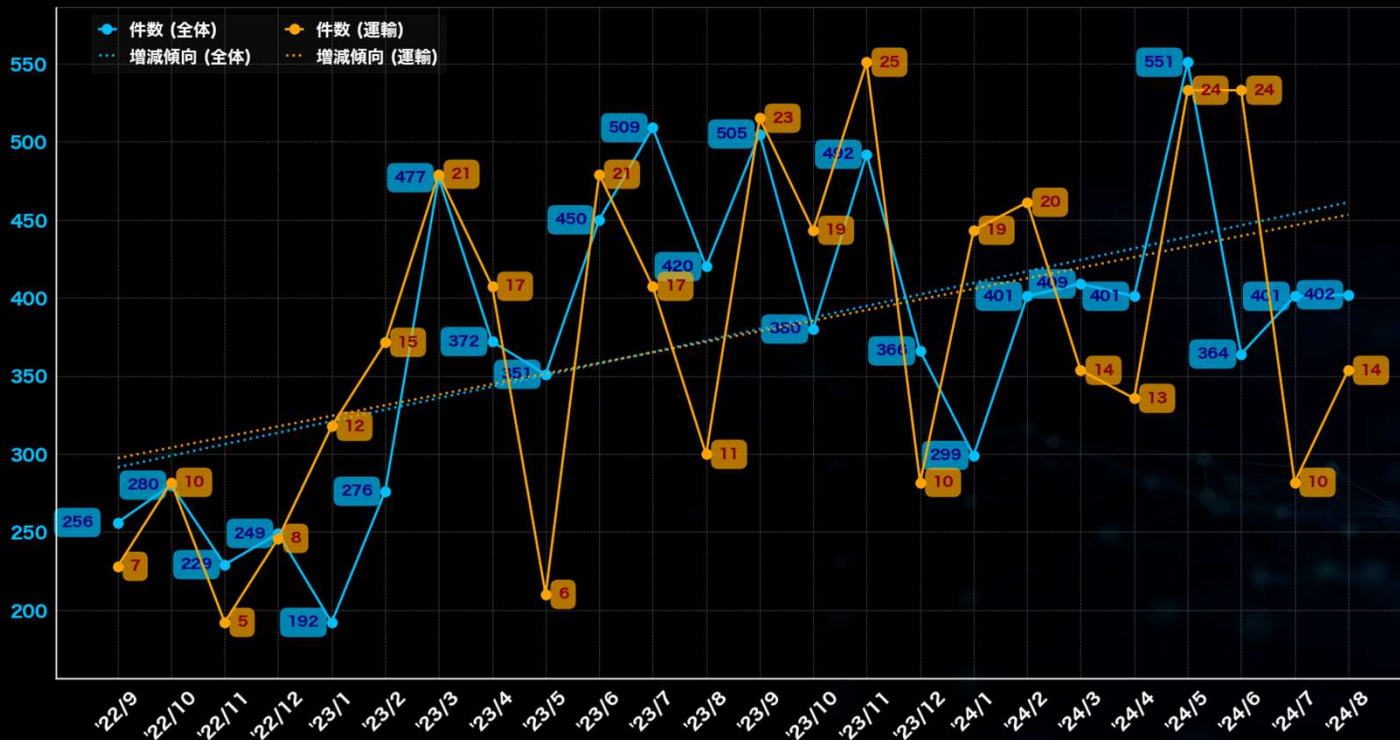
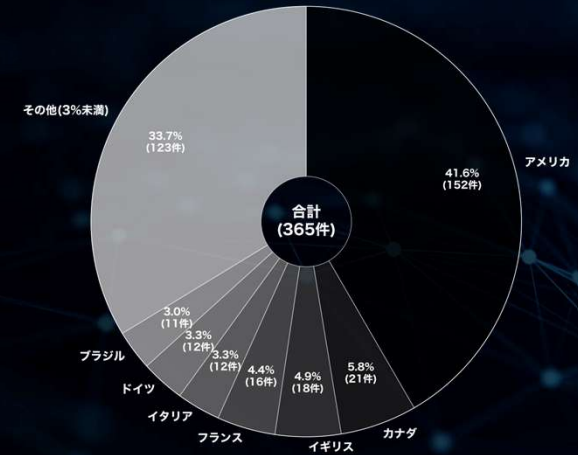
運輸

「運輸」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2023年11月で、25件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2022年11月で、5件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約42%と最も多く、次いでカナダとイギリスがそれぞれ約6%と約5%である。攻撃グループについては、少なくとも62のグループが関与しており、特に「LockBit」が77件のリークサイト掲載を実施している。次いで「PLAY」と「BianLian」がそれぞれ33件と23件の掲載を行っている。運輸関係は全体件数に対する割合こそ低く、過去2年間では著しく被害が減少するケースもあるが、全体と比例する形の増加傾向が続いている。

▼攻撃グループ別



▼国別



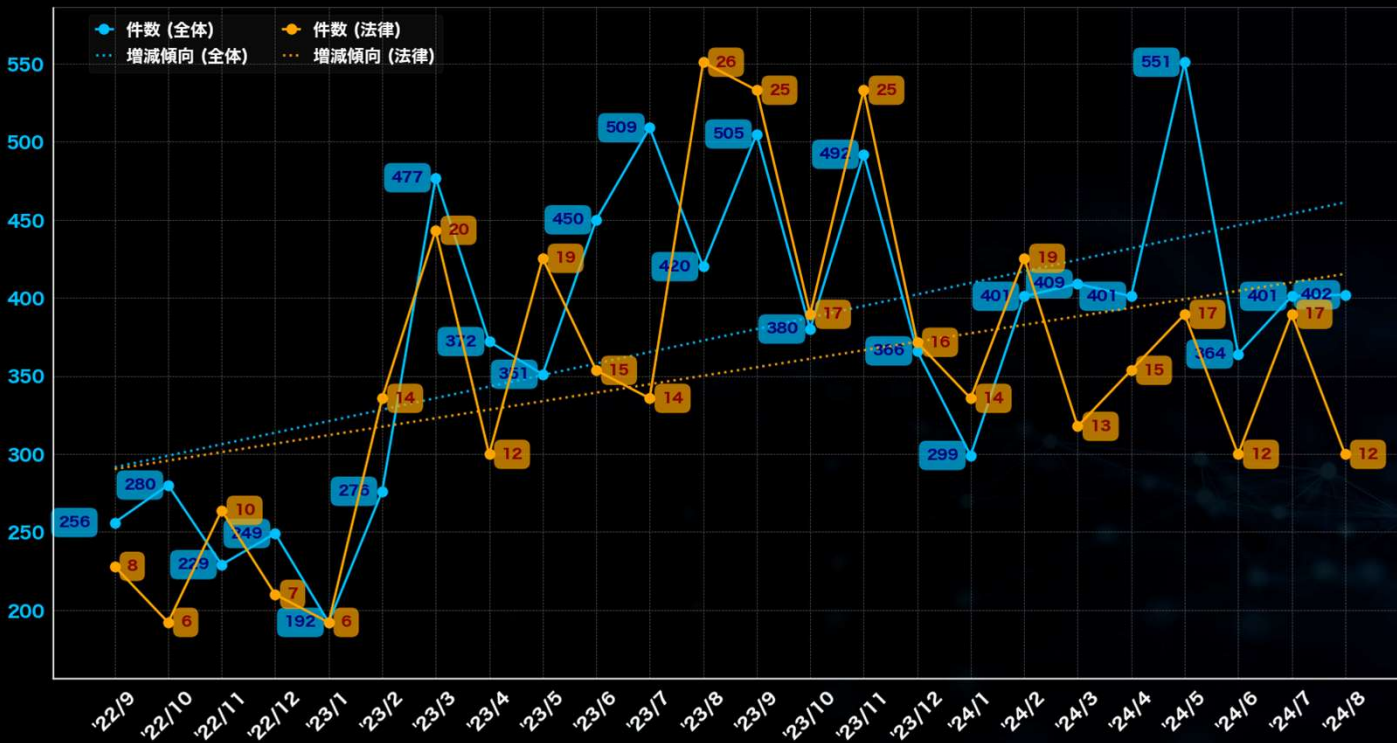
(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

業種に関する分析

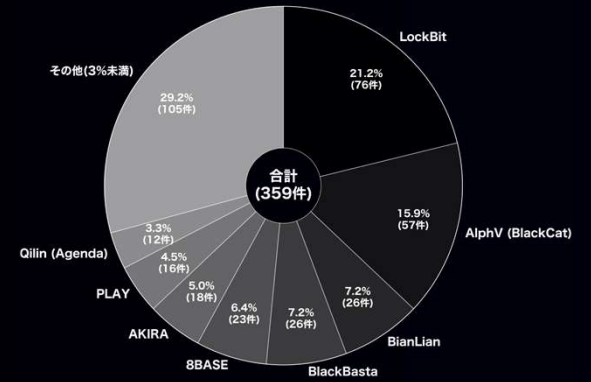
(過去2年間 / 2022年9月～2024年8月) (MBSD調べ)

法律

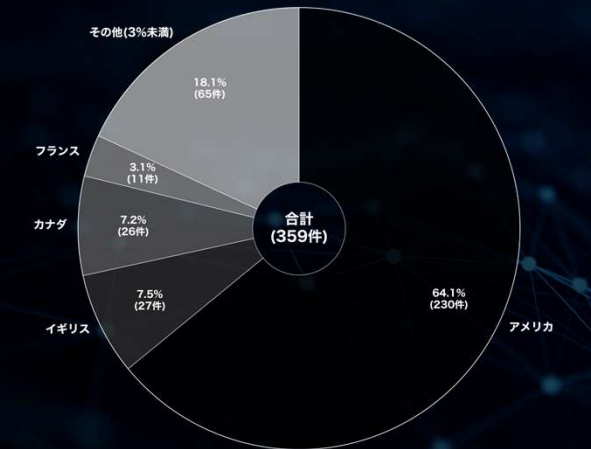
「法律」業界に対するランサムウェア攻撃のリークサイト掲載件数は、過去2年間で様々な変動が確認されている。最も多かった月は2023年8月で、26件の掲載があった。一方、最も少なかった月は2022年10月で、6件であった。被害組織の所在国の割合では、アメリカが約64%と最も多く、次いでイギリスとカナダがそれぞれ約8%と約7%である。攻撃グループについては、少なくとも49のグループが関与しており、特に「LockBit」が76件のリークサイト掲載を実施している。次いで「AlphV (BlackCat)」と「BianLian」がそれぞれ57件と26件の掲載を行っている。法律関連は2023年末以降、減少傾向が見られるが、過去2年間のデータから、2023年8月から11月のように突発的に大きく件数を伸ばす時期があることを確認している。



▼攻撃グループ別



▼国別



(※本ページの日本関連組織に関する値は、リークサイト上の掲載数に加えて国内被害組織からの公表や報道から判明した数も加味し集計している)

※ 各集計や分析に関する留意事項は末尾の「本資料に関する留意事項及び二次利用について」の項を参照

CIGのコンテンツ紹介



Know your enemy.
Defense leadership.®

Cyber Intelligence Group (CIG) では、ランサムウェアに関する様々な観点からの分析結果を情報発信しています。ぜひとも皆様の脅威情報の把握にご活用ください。

- ランサムウェア／攻撃グループの変遷と繋がり (MBSD RANSOMWARE MAP) :

<https://www.mbsd.jp/research/20230201/whitepaper/>

- CIGランサム統計だより :

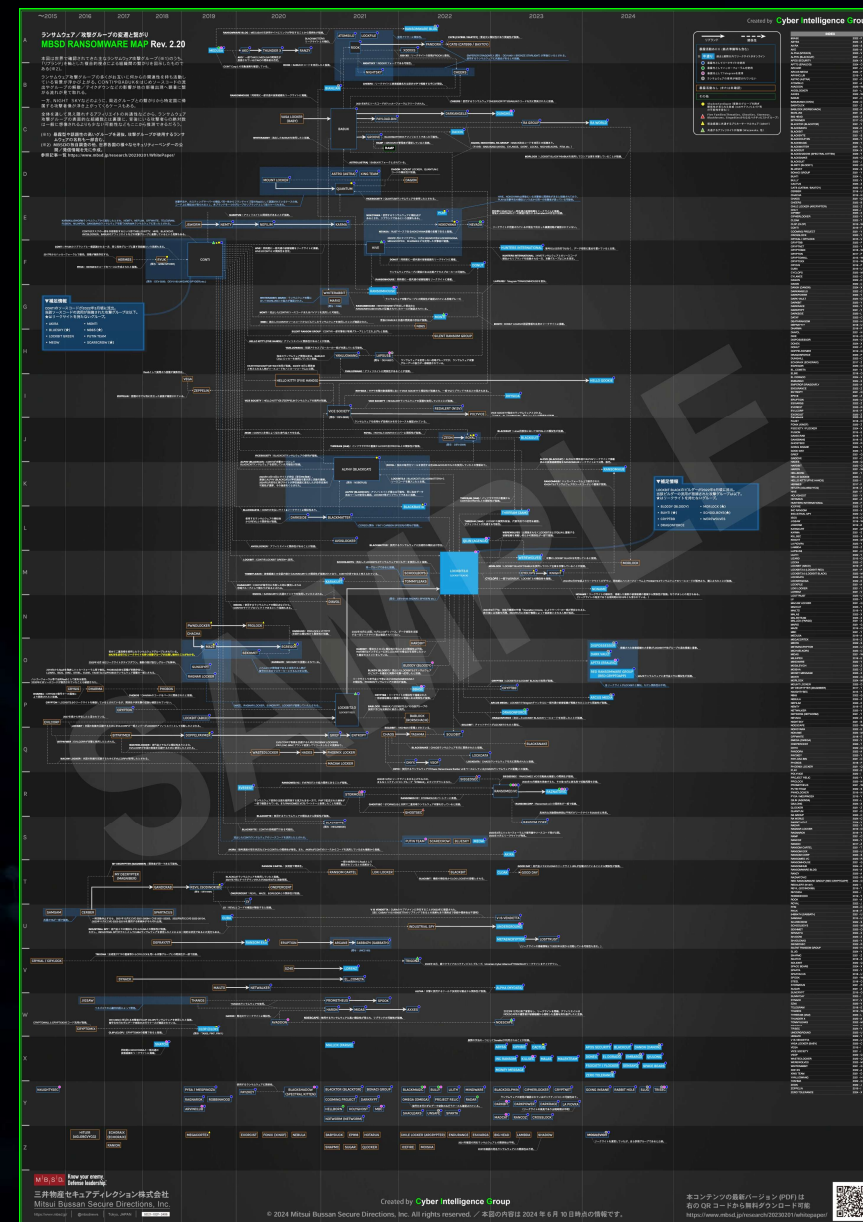
<https://www.mbsd.jp/research/20231023/blog/>

- 技術ブログ :

<https://www.mbsd.jp/research/cig/>

<https://www.mbsd.jp/research/t.yoshikawa/>

MBSD RANSOMWARE MAP (Rev.2)



本資料に関する留意事項及び二次利用について

留意事項

- ・ 攻撃グループや被害組織などについて、正確な情報が公開されていない項目は「(Unknown)」として集計しています。
- ・ 各分析における掲載数は、特に注釈がない限り、公表や報道を含めず、リークサイトに掲載された数のみを基にしています。
(日本にフォーカスした一部の表／グラフのみ、公表や報道から判明した数を加味し集計)
- ・ 本レポートにおける「国」データは、被害組織の本社所在地情報を元に集計しています。
ただし、本社所在地情報が確認できない場合は、「攻撃された拠点の所在国」もしくは「(Unknown)」として集計しています。
- ・ 国内被害組織に関する各種データについては、海外拠点（支社／関連会社）を含みます。
- ・ 業種分類や集計方法を含む本レポートの各データ（値）はMBSD Cyber Intelligence Group (CIG) 独自の観測および集計結果となります。
- ・ 件数については、攻撃日が判明している場合は攻撃日、不明な場合はリークサイト等への掲載日や記載日を基に集計しています。
- ・ ごく一部の、ランサムウェアの使用が明確に確認されていない暴露 & 恐喝グループの値も含まれています。
- ・ これらはいくまで公に把握できた攻撃数の集計結果であり、実被害数はさらに多いものと想定されます。
- ・ 集計方法の変更や、時間が長期経過し公開／公表されるケースを再集計する場合もあるため、常に最新月のレポートを参照してください。

二次利用等に関して

本レポート記載内容の二次利用は基本的に自由&無料となります。

ただし、ご利用、転載、引用などされる際は出典元を「MBSD Cyber Intelligence Group (CIG)」と明記いただきますようお願いいたします。

(※セミナー、出版物、メディア等での本情報の引用・転載は、原則として許可いたします。ただし、ご利用の際は必ず事前に以下のお問い合わせ窓口から詳細をお知らせください。)

お問い合わせ窓口：<https://www.mbsd.jp/contact/>



Know your enemy.
Defense leadership.®

三井物産セキュアディレクション株式会社
Mitsui Bussan Secure Directions, Inc.

<https://www.mbsd.jp/> | @mbsdnews | Tokyo Japan